

Bactrocera dorsalis species complex
(ミカンコミバエ種群) に関する
病害虫リスクアナリシス報告書

令和7年1月21日 改訂

農林水産省横浜植物防疫所

主な改訂履歴及び内容

平成	30 年	10 月	29 日	作成
令和	2 年	3 月	25 日	発生国の追加（レユニオン）、発生国の名称変更（エスワティニ）
令和	3 年	2 月	24 日	発生国等の追加（エリトリア等 6 箇国及びフランス領ギアナ等 3 地域）、寄主植物の追加（カカオ等 97 種）
令和	4 年	1 月	6 日	発生国の追加（オマーン等 3 箇国）
令和	7 年	1 月	21 日	発生国の追加（アゼルバイジャン及びガイアナ）

目次

はじめに.....	1
I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害動物）	1
1. 学名及び分類.....	1
2. 地理的分布	2
3. 寄主植物及びその日本国内での分布	3
4. 寄生部位及びその症状.....	3
5. 移動分散方法.....	3
6. 有害動物の大きさ及び生態	4
7. 媒介性又は被媒介性	4
8. 被害の程度	4
9. 防除.....	5
10. 日本における輸入検疫措置.....	5
11. 諸外国における輸入検疫措置	6
II 病害虫リスクアナリシスの結果.....	7
第1 開始（ステージ1）	7
1. 開始.....	7
2. 対象となる有害動植物.....	7
3. 対象となる経路	7
4. 対象となる地域	7
5. 開始の結論	7
第2 病害虫リスク評価（ステージ2）	8
1. 有害動植物の類別.....	8
2. 農業生産等への影響の評価	8
3. 入り込みの可能性の評価.....	11
4. <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の病害虫リスク評価の結論.....	11
第3 病害虫リスク管理（ステージ3）	12
1. <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討	12
2. 経路ごとの <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討	15
別紙1 <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の発生国等の根拠	17
別紙2 <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の寄主植物の根拠	21
別紙3 <i>Bactrocera dorsalis</i> species complex の寄主植物に関連する経路の年間輸入検査量 （発生国からの貨物、郵便物及び携帯品）	51
別紙4 諸外国における輸入検疫措置の詳細.....	55
引用文献.....	64

はじめに

Bactrocera dorsalis species complex (ミカンコミバエ種群) は、分布範囲の広さ、加害能力、市場への潜在的影響から多くの国で大きな脅威と捉えられており、防除をしていない果実は 100%の被害に達する場合もある重要な病害虫である。このため、大韓民国及びジャマイカでは *B. dorsalis* 等の寄主植物の輸入を禁止し、アメリカ合衆国等の多くの国で本種群の寄主植物に対して低温処理等の検疫措置を求めている。

日本においては、本種群は、植物防疫法施行規則（農林省, 1950）別表 1 に規定されている検疫有害動物であり、同施行規則別表 2 に規定されている国又は地域からの該当する寄主植物の生果実の輸入が禁止されている。

今般、本種群の発生国に係る新たな情報を入手したことを受け、改めて本種群に対するリスク評価を実施し、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施した。

I リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報（有害動物）

1. 学名及び分類

（1）学名

Bactrocera dorsalis species complex

（2）英名、和名等

英名：Oriental fruit fly species complex,

和名：ミカンコミバエ種群

（3）分類

種類：節足動物

科：Tephritidae

属：*Bactrocera*

※ Drew and Hancock（1994）は *Bactrocera dorsalis* species complex を整理し、特に *B. carambolae*、*B. caryae*、*B. dorsalis*、*B. kandiensis*、*B. occipitalis*、*B. papayae*、*B. philippinensis* 及び *B. pyrifoliae* の 8 種を経済的に重要な種として位置づけた。その後、*B. philippinensis* は *B. papayae* のシノニム（Drew and Roving, 2013）として、*B. papayae* 及び *B. invadens* は *B. dorsalis* のシノニム（Schutze et al., 2015）としてそれぞれ整理された。

（4）シノニム（*Bactrocera dorsalis* のシノニム（CABI, 2018b; Drew and Roving, 2013; Schutze et al., 2015））

Bactrocera (*Bactrocera*) *dorsalis* Drew & Hancock, 1994

Bactrocera (*Bactrocera*) *invadens* Drew et al., 2005

Bactrocera (*Bactrocera*) *papayae* Drew & Hancock, 1994

Bactrocera (*Bactrocera*) *philippinensis* Drew & Hancock, 1994

Bactrocera (*Bactrocera*) *variabilis* Lin & Wang

Bactrocera ferruginea Bezzi, 1913

Bactrocera invadens Drew, Tsuruta & White

Bactrocera papayae Drew & Hancock

Bactrocera philippinensis

Chaetodacus ferrugineus Bezzi, 1916
Chaetodacus ferrugineus dorsalis Bezzi, 1916
Chaetodacus ferrugineus var. *dorsalis* Hendel, 1915
Chaetodacus ferrugineus var. *okinawanus* Shiraki, 1933
Dacus (Bactrocera) dorsalis Hardy, 1977
Dacus (Bactrocera) semifemoralis Tseng et al., 1992
Dacus (Bactrocera) yilanensis Tseng et al., 1992
Dacus (Strumeta) dorsalis Hardy & Adachi, 1956
Dacus dorsalis Hendel, 1912
Dacus ferrugineus (Fabricius, 1805)
Musca ferruginea Fabricius, 1794, preocc.
Strumeta dorsalis Hering, 1956
Strumeta dorsalis okinawana Shiraki, 1968
Strumeta ferruginea Hering, 1956

2. 地理的分布

(1) 国又は地域（詳細は別紙1参照。下線部は令和7年1月21日改訂時に追加。）

アジア：インド、インドネシア、カンボジア、シンガポール、スリランカ、タイ、台湾、中華人民共和国、ネパール、パキスタン、バングラデシュ、東ティモール、フィリピン、ブータン、ブルネイ、ベトナム、香港、マレーシア、ミャンマー、ラオス

中東：オマーン

欧州：アゼルバイジャン

アフリカ：アンゴラ、ウガンダ、エスワティニ、エチオピア、エリトリア、ガーナ、カボベルデ、ガボン、カメルーン、ガンビア、ギニア、ギニアビサウ、ケニア、コートジボアール、コモロ、コンゴ共和国、コンゴ民主共和国、ザンビア、シエラレオネ、ジンバブエ、スーダン、赤道ギニア、セネガル、タンザニア、チャド、中央アフリカ共和国、トーゴ、ナイジェリア、ナミビア、ニジェール、ブルキナファソ、ブルンジ、ベナン、ボツワナ、マイヨット島、マダガスカル、マラウイ、マリ、南アフリカ共和国、モザンビーク、モーリシャス、モーリタニア、リベリア、ルワンダ、レユニオン

中南米：ガイアナ、スリナム、フランス領ギアナ

大洋州：オーストラリア領クリスマス島、北マリアナ諸島、ナウル、パプアニューギニア、パラオ、ハワイ諸島、フランス領ポリネシア

※1 南米においては、スリナム及びフランス領ギアナで本種群に含まれる *B. carambolae* の発生が確認されて以来、ブラジルでは、フランス領ギアナに隣接するアマパー州で発生が確認され、その後、隣接するパラ州、ロライマ州でも確認されている。なお、ブラジルにおいては発生が確認されている3州では公的防除を実施中である（Castilho et al., 2019）。

※2 日本における *B. dorsalis* の侵入から根絶までの歴史

B. dorsalis は1919年に沖縄本島で発見され、1946年に奄美群島全域、1968年に硫黄島等の一部を除く小笠原諸島ほぼ全域で発生が確認された。また、1974年に

トカラ列島、種子島、屋久島で発生が確認されたが、ただちに防除が行われた結果、定着には至らなかった。このため、南西諸島では雄除去法、小笠原諸島では雄除去法と不妊虫放飼法を組み合わせた根絶防除事業が行われ、1986年八重山群島での根絶確認により、防除開始から18年の歳月と総額50億円の直接防除費用（人件費除く。）をかけ、*B. dorsalis* は日本から根絶された（石井ら, 1985; 佐伯ら, 1980; 農林水産省植物防疫所, 1986; 吉澤, 1993）。

なお、全国の主要な海空港等で誘引剤を用いた侵入調査を実施しており、本種群の侵入防止に努めている。また、本種群が検出された場合、農林水産省、地方農政局、内閣府沖縄総合事務局、都道府県など関係機関と協力して適切な防除を実施するための体制が整備されている（加藤, 2016; 農林水産省植物防疫所, 2024）。

（2）生物地理区

本種群は、旧北区、東洋区、エチオピア区、オセアニア区及び新熱帯区の5区に分布する。

3. 寄主植物及びその日本国内での分布

（1）寄主植物（詳細は別紙2参照。）

（2）日本国内における寄主植物の分布及び栽培状況

イチゴ、カボチャ、キュウリ、スイカ、スモモ、トマト、ナス及びブドウ属：47都道府県で栽培。

ナシ、モモ及びリンゴ：46都道府県で栽培。

カキ：45都府県で栽培。

ミカン属：42都府県（北海道、東北の一部を除く。）で栽培。

ニガウリ：39都道府県で栽培。

ビワ：35都府県で栽培。

マンゴウ：沖縄県、宮崎県、鹿児島県等10県で栽培。

※ 上記以外の寄主植物についても、国内で広く分布又は栽培されている。

4. 寄生部位及びその症状

雌成虫は寄主植物の果実の果皮下に十数個の卵を産み、重複産卵された場合には1個の果実に数百頭の幼虫が寄生していることもある（CABI, 2018b; 石井ら, 1985）。25℃の飼育条件下では、平均産卵数は627個／頭、1日あたりの平均産卵数は18個／頭である（一戸ら, 1973）。幼果よりも熟果に好んで産卵する（石井ら, 1985）。果実表面に産卵痕が生じるが、寄生初期段階では発見が困難である。幼虫は果実内を加害し、加害された果実は腐敗し、落果する（CABI, 2018b; 加藤, 2016）。

5. 移動分散方法

（1）自然分散

成虫が飛翔により移動する。過去に行われた標識再捕法による研究では、飛翔距離は2～65kmの範囲で報告されている（Otuka *et al.*, 2016）。

（2）人為分散

本種群が寄生した果実により移動する（CABI, 2018b）。

6. 有害動物の大きさ及び生態

(1) 有害動物の大きさ

卵：白色～黄白色で長さ 0.8～1.37mm、幅 0.2～0.24mm (CABI, 2018b; Ichinohe *et al.*, 1980; 上地・有本, 2012)

幼虫：体長は 1 齢幼虫で約 1.2～1.3mm、2 齢幼虫で約 2.5～5.8mm、3 齢幼虫で約 7.0～11.0mm (CABI, 2018b; 石井ら, 1985; 上地・有本, 2012)

蛹：長さ約 3.8～5.2mm で黄褐色又は暗褐色 (Ichinohe *et al.*, 1980; 上地・有本, 2012)

成虫：体長は約 7～8mm (石井ら, 1985; 上地・有本, 2012; 加藤, 2016)

(2) 繁殖様式

有性生殖する (CABI, 2018b)。

(3) 年間世代数

卵は産卵後 1 日以内にふ化する（涼しい環境では 20 日掛かる場合もある）。幼虫期間は 6～35 日間で、土中で蛹化し、10～12 日後に成虫となって出現する（涼しい環境では 90 日掛かる場合もある）。成虫は 1 年を通じて発生し、羽化後 8～12 日で交尾し、1～3 箇月生存する (CABI, 2018b)。

B. dorsalis の発育零点及び有効積算温度は、卵は 11.65℃で 22.87 日度、幼虫は 11.85℃で 85.06 日度、蛹は 11.00℃で 163.49 日度、産卵前期間は 15.13℃で 148.48 日度、卵から羽化までは 11.43℃で 269.98 日度である (佐伯ら, 1980)。発育零点及び有効積算温度から推定される *B. dorsalis* の日本各地における年間世代数は、札幌 2 世代、仙台 3 世代、東京 4 世代、鹿児島 5 世代、那覇 8 世代である (佐伯ら, 1980; 岩泉, 1995)。

(4) 植物残さ中での生存

落下した果実中でも生存する (CABI, 2018b)。

(5) 休眠性

情報なし。

7. 媒介性又は被媒介性

情報なし。

8. 被害の程度

寄主範囲が広く、防除をしていない果実は 100%の被害に達する場合もある。*B. dorsalis* の主要な寄主はミカン属、キンカン属、カラタチ属（以下「カンキツ類」という。）、リンゴ、アンズ、バンジロウ、マンゴウ、モモ、ナシ、スモモ等である。分布範囲の広さ、加害能力、市場への潜在的影響から多くの国で大きな脅威と捉えられている (CABI, 2018b)。

日本では、*B. dorsalis* の根絶前に行われた調査では、沖縄県では、カンキツ類で 4.1～36.4%、モモで 14.7～40.8%、パパイヤで 19.0～27.2%、ピーマンで 2.4～10.5%、トマトで 0.2～4.9%、バンジロウで 30.8～63.8%の被害果が、鹿児島県奄美群島では、カンキツ類で 0.3～15.4%、モモで 19.5～39.8%、スモモでは 1.9～27.7%、バンジロウでは 13.7～97.4%の被害果が確認されている (石井ら, 1985)。

9. 防除

産卵を防止するための果実の袋がけ、誘引剤を利用した雄除去法、ベイト剤（殺虫剤＋タンパク質餌）の散布による防除（CABI, 2018b）。誘引剤はメチルオイゲノールを使用する（Drew and Roming, 2013; FAO, 2015）。

また、本種群の未発生国の多くは、誘引剤を用いた侵入警戒調査を実施しており（CABI, 2018b）、本種群が検出された場合は、各国のアクションプランに基づき寄主植物の移動制限、寄主植物（果実）の除去、ベイト剤の散布等の公的防除が行われている。モーリシャスでは、本種群の根絶のために 100 万米ドルの費用がかけられた（CABI, 2018b）が、現在、同国内にまん延している（Sookare et al., 2020; EPPO, 2021）。

10. 日本における輸入検疫措置

本種群は、植物防疫法施行規則（農林省, 1950）別表 1 に規定されている検疫有害動物であり、同施行規則別表 2 に規定されている国又は地域からの該当する寄主植物の生果実の輸入は認められていない（輸入禁止）。しかし、以下の寄主植物は、「農林水産大臣が定める基準に適合している。」（同施行規則別表 2 の付表）ことを条件に輸入が認められている。

（1）蒸熱処理

- ・ タイ産トーンディー種のポメロの生果実
- ・ ハワイ諸島産ソロ種のパパイヤの生果実
- ・ フィリピン産ソロ種のパパイヤの生果実
- ・ ベトナム産ヒロセレウス・ウンダーツス及びヒロセレウス・ウンダーツスとヒロセレウス・コスタリケンシスとの交雑種の生果実
- ・ 台湾産ヒロセレウス属植物（ヒロセレウス・ウンダーツス、ヒロセレウス・コスタリケンシス及びヒロセレウス・ポリリズス並びにこれらの交雑種）の生果実
- ・ タイ産マンゴスチンの生果実
- ・ フィリピン産マニラスーパー種のマンゴウの生果実
- ・ 台湾産台農二号種のパパイヤ及びアーヴィン種及びハーデイン種のマンゴウの生果実
- ・ タイ産キオウサウエイ種、チョークアナン種、ナンカンワン種、ナンドクマイ種、ピムセンダン種、マハチャノ種及びラッド種のマンゴウの生果実
- ・ ハワイ諸島産ケイト種及びヘイデン種のマンゴウの生果実
- ・ インド産アルフォンソ種、ケサー種、チョウサ種、バンガンパリ種、マリカ種及びラングラ種のマンゴウの生果実
- ・ マレーシア産ハルマニス種のマンゴウの生果実
- ・ パキスタン産シンドリ種及びチョウサ種のマンゴウの生果実
- ・ ベトナム産カッチュー種のマンゴウの生果実

（2）低温処理

- ・ 南アフリカ共和国産バレンシア種、ワシントンネーブル種、トマンゴ種及びプロテア種のスウィートオレンジ、レモン、グレープフルーツ、クレメンティン並びにバーリンカ種のブドウの生果実（対象：本種群及びチチュウカイミバエ）
- ・ エスワティニ産バレンシア種、ワシントンネーブル種、トマンゴ種及びプロテア種のスウィートオレンジ、グレープフルーツ並びにクレメンティンの生果実（対象：本種群及びチチュウカイミバエ）
- ・ 台湾産ポンカン、ポメロ、巨峰及びイタリア種のブドウ並びにインドナツメの生果実
- ・ 南アフリカ産共和国産ハス種のアボカドの生果実

- ・ ベトナム産リゅうがんの生果実

(3) くん蒸処理

- ・ 台湾産タンカン、リュウチン種のスウィートオレンジ及びカイト種のマンゴウの生果実
- ・ ベトナム産ティエウ種レイシの生果実

(4) 蒸熱処理及び低温処理

- ・ 台湾産レイシの生果実
- ・ 中華人民共和国産レイシの生果実

(5) 温湯浸漬処理及びくん蒸処理

- ・ 台湾産ソロ種パパイヤの生果実

(6) システムズアプローチ

- ・ タイ産マンゴスチンの生果実

1 1. 諸外国における輸入検疫措置

(1) 輸入禁止措置

大韓民国及びジャマイカは、*B. dorsalis* 等の寄主植物の輸入を禁止している (APQA, 2020; MICAF, 2005)。

(2) 検疫措置

別紙4 参照。

Ⅱ 病害虫リスクアナリシスの結果

第1 開始（ステージ1）

1. 開始

Bactrocera dorsalis species complex に対するリスク評価を行い、現行の検疫措置の有効性を評価するため、病害虫リスクアナリシスを実施する。

2. 対象となる有害動植物

Bactrocera dorsalis species complex を対象とする。なお、本種群の中で特に経済的に重要な種とされている *B. carambolae*、*B. caryeae*、*B. dorsalis*（シノニム：*B. invadens*、*B. papayae*、*B. philippinensis*）、*B. kandiensis*、*B. occipitalis*、*B. pyrifoliae* の情報を中心に生物学的情報を取りまとめた。

3. 対象となる経路

リスクアナリシス対象の病害虫の生物学的情報の「2. 地理的分布」に示す「国又は地域」からの「3. 寄主植物及びその日本国内での分布」に示す「寄主植物」であって、「4. 寄生部位及びその症状」に示す「寄生部位」を含む植物を対象とする。

4. 対象となる地域

日本全域を対象とする。

5. 開始の結論

本種群を開始点とし、その発生地域から輸入される植物を経路とした日本全域を対象とする病害虫リスクアナリシスを開始する。

第2 病害虫リスク評価（ステージ2）

1. 有害動植物の類別

ステージ1で特定された有害動植物について、国内における発生及び公的防除の有無、定着及びまん延の潜在性並びに経済的影響を及ぼす潜在性について調査し、検疫有害動植物となる潜在性を有するかどうかを検討する。なお、以下の（1）から（3）の評価項目の判断基準を満たしていない場合は、それが判明した時点で評価を中止できるものとする。

（1）有害動植物の国内での発生の有無及び公的防除の有無等

Bactrocera dorsalis species complex は、国内未発生である。

（2）定着及びまん延の潜在性

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スモモ、トマト、ナス等は、47 都道府県で栽培されていることから、もし本種が国内に入り込んだ場合、定着及びまん延するおそれがある。

（3）経済的影響を及ぼす潜在性

本種群は、寄主範囲が広く、寄主植物の果実の果皮下に卵を産み、幼虫が果実を加害することにより、発生国において、多くの被害報告がある。したがって、もし、国内に入り込み、定着及びまん延した場合、経済的影響を及ぼすおそれがある。

（4）評価にあたっての不確実性

特になし。

（5）有害動植物の類別の結論

本種群は、国内未発生であるが、カボチャ、キュウリ、スモモ、トマト、ナス等の寄主植物は国内で広く栽培され本種群は、寄主範囲が広く、また、果実へ産卵し幼虫は果実を加害することによる被害報告があることから、国内においても経済的影響を及ぼすことは否定できない。

したがって、本種群は、検疫有害動植物となる潜在性を有することから、引き続き「2. 農業生産等への影響の評価」で評価を行う。

2. 農業生産等への影響の評価

（1）定着の可能性の評価

ア リスクアナリシスを実施する地域における潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

（ア）潜在的検疫有害動植物の生存の可能性

本種群は広食性で、寄主植物は国内で広く栽培又は自生しており、施設栽培も盛んに行われている。野外での成虫の生存期間は数箇月と長い。また、*B. dorsalis* は、過去に東京都小笠原諸島、鹿児島県奄美群島及び沖縄県に定着したことがあるが、1986 年に根絶に成功しており、国内には定着していない。このため、本種群は、国内で生活環を維持できる。

（イ）リスクアナリシスを実施する地域における中間宿主の利用可能性

本種群は有害動物のため、評価しない。

（ウ）潜在的検疫有害動植物の繁殖戦略

本種群は、有性生殖を行い、雌成虫は果実に1回当たり十数個産卵し、1生涯で数百個産卵することが報告されている。よって、評価基準に基づき2点と評価した。

イ リスクアナリシスを実施する地域における寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

(ア) 寄主又は宿主植物の利用可能性及び環境の好適性

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スモモ、トマト、ナス等の多くは、47 都道府県で栽培されている。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の寄主又は宿主範囲の広さ

本種群が寄生する植物の科は、アカテツ科、アカネ科、ウルシ科、オトギリソウ科、カキノキ科、カタバミ科、クロウメモドキ科、クワ科、サボテン科、トケイソウ科、ナス科、バショウ科、バラ科、バンレイシ科、フトモモ科、マメ科、ミカン科、ムクロジ科、ヤシ科等が知られており、寄主植物の範囲は非常に幅広い。

(ウ) 有害動植物の侵入歴

本種群は、旧北区、東洋区、エチオピア区、オセアニア区及び新熱帯区の5区に分布する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

ウ 定着の可能性の評価結果

評価した項目の平均から、定着の可能性の評価点は5点満点中の4点となった。

(2) まん延の可能性の評価

ア 自然分散（自然条件における潜在的検疫有害動植物の分散）

(ア) 移動距離

成虫は飛翔し、長距離移動することが知られている。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 年間世代数

発育期間は温度等の影響を受け変動するが、卵は産卵後1～数日以内にふ化する。幼虫の発育期間は6～35 日間で、老熟幼虫になると果実から脱出し土中で蛹化する。蛹期間は10～12 日間で、成虫は1年を通じて発生し、羽化後8～12 日で交尾し、1～3箇月生存する。

発育零点及び有効積算温度から推定される国内各地における年間世代数は、札幌2世代、仙台3世代、東京4世代、鹿児島5世代、那覇8世代である。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

イ 人為分散

(ア) 農作物を介した分散

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スイカ、スモモ、トマト、ナス等は、47 都道府県で栽培されており、寄生部位である果実は商品として流通する。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 非農作物を介した分散

非農作物を介した重要な人為的分散手段については知られていない。よって、本項目は評価しない。

ウ まん延の可能性の評価結果

評価した項目の平均から、まん延の可能性の評価点は5点満点中の5点となった。

(3) 経済的重要性の評価

ア 直接的影響

(ア) 影響を受ける農作物又は森林資源

本種群の寄主植物には、カキ、カンキツ類、スモモ、トマト、ナシ、ビワ、マンゴウ、モモ等が含まれ、影響を受ける農作物の産出額の合計は1兆4,215.6億円であることから、評価基準に基づき4点と評価した。

(イ) 生産への影響

本種群の寄主植物であるカキ、カンキツ類、スモモ、トマト、ナシ、ビワ、マンゴウ、モモ等は国内で栽培されており、生産農業所得統計の対象とされている。また、防除をしていない果実は100%の被害に達する場合もあるとの報告がある。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

(ウ) 防除の困難さ

国内では、過去に、誘引剤を用いた雄除去法等による*B. dorsalis*の根絶防除事業を実施し、防除開始から18年の歳月と総額50億円の直接防除費用（人件費除く。）をかけ、1986年に根絶に成功した事例がある。

(エ) 直接的影響の評価結果

上記2項目の評価点の積は16点となり、評価基準に基づき直接的影響の評価点は4点となった。

イ 間接的影響

(ア) 農作物の政策上の重要性

寄主植物であるウンシュウミカン、リンゴ、ナシ等は「農業保険法」及び「同法施行令」で定める果樹・農作物に該当し、キュウリ、トマト、ナスは「野菜生産出荷安定法施行令」で定める指定野菜に該当する。また、カンキツ類、モモ等は「果樹農業振興特別措置法施行令」で定める果樹に該当するため、評価基準に基づき1点と評価した。

(イ) 輸出への影響

大韓民国及びジャマイカは、*B. dorsalis*等の寄主植物の輸入を禁止している。よって、評価基準に基づき1点と評価した。

ウ 経済的重要性の評価結果

直接的影響の評価結果の得点と間接的影響の得点の和から、経済的重要性の評価点は5点となった。

(4) 評価における不確実性

本種群の寄主範囲は非常に広いことが知られており、影響を受ける植物については不確実性を伴う。

(5) 農業生産等への影響評価の結論（病虫害固有のリスク）

定着及びまん延の可能性並びに経済的重要性の3項目の評価点の積は100点となり、本種群の農業生産等への影響の評価を「高い」と結論付けた。

3. 入り込みの可能性の評価

項目	評価における判断の根拠等		
(1) 寄生部位	卵は寄主植物の果皮下に産み付けられ、幼虫は果実内を加害する。		
(2) 国内に入り込む可能性のある経路	経路として考えられるものは〔消費生植物〕である。		
	用途	部位	経路となる可能性
	ア 消費生植物	果実	○
(3) 寄主植物の輸入検査量	別紙3参照		

(1) 入り込みの可能性の評価

ア 消費生植物

(ア) 輸送中の生き残りの可能性（加工処理に耐えて生き残る可能性）

原産地で本種群の生存率に影響を与える加工処理等は実施されていない。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(イ) 潜在的検疫有害動植物の個体の見えにくさ

卵の大きさは長さ0.8～1.37mm、幅0.2～0.24mmで寄主植物の果実の果皮下に産み付けられる。幼虫は果実内を加害し、大きさは1.2～11.0mmである。よって、評価基準に基づき5点と評価した。

(ウ) 輸入品目からの人為的な移動による分散の可能性

本種群の寄主植物であるカボチャ、キュウリ、スイカ、スモモ、トマト、ナス等は、47都道府県で栽培されている。よって、評価基準に基づき4点と評価した。

(エ) 輸入品目からの自然分散の可能性

成虫は飛翔し、長距離移動することが知られている。よって、評価基準に基づき3点と評価した。

(オ) 評価における不確実性

特になし。

消費生植物の入り込みの可能性の評価の結論

評価を行った項目の得点から平均値は4.3点であり、消費生植物を経路とした場合の入り込みの可能性の評価を「高い」と結論付けた。

4. *Bactrocera dorsalis* species complex の病害虫リスク評価の結論

本種群は検疫有害動物であり、消費生植物を経路として入り込む可能性があると評価した。

農業生産等への影響評価の結論 (病害虫固有のリスク)	入り込みの可能性の評価		病害虫リスク評価の結論
	用途	結論	
高い	ア 消費生植物	高い	高い

第3 病害虫リスク管理（ステージ3）

病害虫リスク評価の結果、*Bactrocera dorsalis* species complex はリスク管理措置が必要な検疫有害動物であると判断されたことから、ステージ3において、発生国からの寄主植物の輸入に伴う本種群の入り込みのリスクを低減するための適切な管理措置について検討する。

1. *Bactrocera dorsalis* species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討

選択肢	方法	有効性及び実行可能性の検討	実施主体 (時期)	有効性	実行 可能性
①病害虫無発生地域の設定及び維持	国際基準 No. 4 及び No. 26 に基づき設定及び維持する。	〔有効性〕 ● 国際基準に基づき輸出国植物防疫機関が設定、管理及び維持する病害虫無発生地域であれば、有効である。 〔実行可能性〕 ● 輸出国において適切に管理されることが必要であるが、実行可能と考えられる。	輸出国 (輸出前)	○	○
②病害虫無発生地の生産地又は生産用地の設定及び維持	国際基準 No. 10 に基づき設定及び維持する。	〔有効性〕 ● 国際基準に基づき輸出国植物防疫機関が設定、管理及び維持する病害虫無発生地の生産地又は生産用地であれば、有効であるが、当該生産地又は生産用地に本種群が入り込まないことを確実にする必要がある。 ● しかし、本種群の成虫は最大 65km 飛翔した記録があり、飛翔能力が高いため、病害虫無発生地の生産地又は生産用地の設定及び維持は困難である。	輸出国 (輸出前)	×	—
③システムズアプローチ	国際基準 No. 14 及び No. 35 に基づき実施する。	複数の管理措置の組み合わせであるシステムズアプローチについての有効性及び実行可能性については、輸出国から具体的に提案される管理措置の内容を検討する必要がある。	輸出国 (輸出前)	—	—
④栽培地検査	栽培期間中に生育場所において植物の症状等を観察する。	〔有効性〕 ● 卵は果実の果皮下に産み付けられ、表面には産卵痕を生じる。	輸出国 (栽培中)	▽	○

	る。	● しかし、卵及び幼虫は内部に寄生するため、寄生初期段階では発見が極めて困難なことから、効果は限定的である。 〔実行可能性〕 ● 輸出国において適切に検査されることが条件であるが、実行可能と考えられる。			
⑤熱処理、低温処理、くん蒸処理（リン化水素、臭化メチル等）及び放射線照射処理		〔有効性〕 ● アメリカ合衆国、オーストラリア及びニュージーランドは、多くの果実について、<i>Bactrocera dorsalis</i> 等を対象に熱処理（蒸熱処理）基準を設定している。 ● アメリカ合衆国は、ハワイ産パパイヤ等の果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に熱処理（強制通風加熱処理）基準を設定している。 ● アメリカ合衆国は、ハワイ産レイシ及びリュウガンの果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に熱処理（温湯浸漬処理）基準を設定している。 ● 国際基準では、パパイヤの果実について、<i>B. dorsalis</i> を対象に熱処理（蒸熱処理）基準が設定されている（国際基準 No. 28 Annex32）。 ● アメリカ合衆国、オーストラリア、ニュージーランド及びインドは、多くの果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に低温処理基準を設定している。 ● アメリカ合衆国、ニュージーランド、台湾及びインドは、多くの果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に臭化メチルくん蒸処理基準を設定	輸出国（輸出前）	○	○ （臭化メチルくん蒸処理及び放射線照射処理▽）

		している。 ●アメリカ合衆国及びニュージーランドは、多くの果実について、<i>B. dorsalis</i> 等を対象に放射線照射処理基準を設定している。 ●国際基準では、ミバエ科 (Tephritidae) 及び <i>B. dorsalis</i> の寄主植物 (果実及び野菜) について、放射線照射処理基準 150Gy 及び 116Gy がそれぞれ設定されている (国際基準 No. 28 Annex7 及び Annex33)。 ●処理基準については、そのまま本種へ適用できるか、補完的に別な措置も適用して実施できるかについては、個別案件ごとに別途検討する必要がある。 〔実行可能性〕 ●輸出国において適切に処理されることが必要であるが、実行可能と考えられる。 ●輸出国によっては、臭化メチルくん蒸が認められていない可能性ある。 ●日本において、食用植物への放射線照射処理は、食品衛生法 (厚生省, 1947) に基づきバレイショの発芽防止を除いて認められていない。			
⑥検査証明書への追記	輸出国での目視検査の結果、本種群が寄生していないことを確認し、その旨を検査証明書に追記する。	〔有効性〕 ●卵は果皮の下に産み付けられ、果実表面には産卵痕を生じる。 ●しかし、寄生初期段階では発見が極めて困難であるため、効果は限定的である。 〔実行可能性〕 ●輸出国において適切な検査が行われることが必要であ	輸出国 (輸出時)	▽	○

		るが、実行可能と考えられる。			
⑦輸出入検査 (目視検査)	植物の症状等 を確認する。	〔有効性〕 ● 卵は果皮の下に産み付けられ、果実表面には産卵痕を生じる。 ● しかし、寄生初期段階では発見が極めて困難であるため、効果は限定的である。 〔実行可能性〕 ● 輸出入国において通常実施されている検査であり、実行可能である。	輸出国 (輸出時) 輸入国 (輸入時)	▽ ▽	○ ○
⑧隔離栽培中の検査	輸入後、国内の施設において一定期間栽培し、寄生の有無を確認する。	〔有効性〕 ● 本種群が入り込む可能性のある経路は消費生植物（果実）のため、輸入後に一定期間の栽培による寄生の有無の確認は有効ではない。	輸入国 (輸入後)	×	—

有効性 ○：効果が高い
 ▽：限定条件下で効果がある
 ×：効果なし
 —：検討しない

実行可能性 ○：実行可能
 ▽：限定条件下で実行可能
 ×：実行困難
 —：検討しない

2. 経路ごとの *Bactrocera dorsalis* species complex に対するリスク管理措置の選択肢の検討

(1) 消費生植物（果実）

ア 検討結果

病害虫無発生地域の設定及び維持（選択肢①）は、本種群の入り込みのリスクに対して有効な管理措置である。しかしながら、病害虫無発生地域の設定及び維持の方法については、寄主植物の栽培環境、病害虫管理等を含む各種要因に影響を受けるため、個別案件ごとに具体的な内容を輸出国植物防疫機関が示し、日本側がその許諾を判断する必要がある。

熱処理、低温処理及び臭化メチルくん蒸処理（選択肢⑤）は、科学的に有効であることが証明された処理であれば、有効な管理措置である。

なお、管理措置の特定に当たっては、本種群は、寄主植物の広さ、その加害能力及び市場への潜在的影響から大きな脅威と捉えられ、大韓民国及びジャマイカは、*B. dorsalis* 等の寄主植物の輸入を禁止し、他の多くの国及び地域でも輸出国での熱処理等の実施が求められていることを考慮する必要がある。

イ リスク管理措置の特定

消費生植物（果実）に対する管理措置として、本種群の入り込みの可能性を低減させることが可能であり、かつ、必要以上に貿易制限的でないことを考慮し、以下を特定した。なお、以下のいずれかの管理措置を実施する必要がある。

- 輸出国（輸出前）において、輸出国植物防疫機関が国際基準に基づき設定、維持及び管理された病害虫無発生地域で輸出対象植物を生産し、その旨を検査証明書に追記する。
- 輸出国（輸出前等）において、以下の処理のうち、国際基準 No.28 の付属書で採択されている処理基準又は2国間合意等による処理基準を適用し、その旨を検査証明書に追記する。
 - ・ 熱処理
 - ・ 低温処理
 - ・ くん蒸処理（リン化水素、臭化メチル等）

なお、上記の管理措置については、日本が求める水準を満たすとともに、確実な実施に関して担保をとる必要がある場合は、2国間合意に基づく必要がある。

また、輸出国において上記の管理措置を的確に講ずることが困難であり、本種群の入り込みのリスクが十分に低減されないと判断できる場合は、輸入禁止措置を講ずる必要がある。

Bactrocera dorsalis species complex の発生国等の根拠

国又は地域	ステータス	根拠文献	備考
アジア			
インド	発生	CABI, 2020	
Assam	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Bihar	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Chhattisgarh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Delhi	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Goa	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Gujarat	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
Himachal Pradesh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Jammu and Kashmir	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Karnataka	発生	CABI, 2020	
Kerala	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Madhya Pradesh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Maharashtra	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
Manipur	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Mizoram	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Odisha	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Punjab	発生	CABI, 2020	
Rajasthan	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sikkim	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Tamil Nadu	発生	CABI, 2020	
Uttar Pradesh	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Uttarakhand	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
West Bengal	発生	CABI, 2020	
インドネシア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Irian Jaya	発生	CABI, 2020	
Java	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Lesser Sunda Islands	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sulawesi	発生	CABI, 2020	
Sumatra	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
カンボジア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
シンガポール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
スリランカ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
タイ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
台湾	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中華人民共和国	発生	CABI, 2020	
安徽省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
雲南省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
海南省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	

広東省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
貴州省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
江西省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
広西チワン族自治区	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
江蘇省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
湖南省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
湖北省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
四川省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
上海市	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
重慶市	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
浙江省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
チベット自治区	発生	CABI, 2020	
福建省	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マカオ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ネパール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
パキスタン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
バングラデシュ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
東ティモール	発生	CABI, 2020	
フィリピン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブータン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブルネイ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ベトナム	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
香港	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マレーシア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	
Peninsular Malaysia	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sabah	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
Sarawak	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ミャンマー	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ラオス	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中東			
オマーン	発生	CABI, 2020; Elwan, 2000; EPPO, 2021; MAF, 2018; White, 2006	
欧州			
<u>アゼルバイジャン</u>	<u>発生</u>	<u>2024 年に農林水産省植物防疫所の輸入検査で発見</u>	<u>追加</u>
アフリカ			
アンゴラ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ウガンダ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
エスワティニ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
エチオピア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
エリトリア	発生	Hussain <i>et al.</i> , 2015; CABI, 2020; EPPO, 2020	
ガーナ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
カーボベルデ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ガボン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	

カメルーン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ガンビア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ギニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ギニアビサウ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ケニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コートジボアール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コモロ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コンゴ共和国	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
コンゴ民主共和国	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ザンビア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
シエラレオネ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ジンバブエ	発生	Mafirakurewa <i>et al.</i> , 2016; Musasa <i>et al</i> 2019; CABI, 2020; EPPO, 2020	
スーダン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
赤道ギニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
セネガル	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
タンザニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
チャド	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中央アフリカ共和国	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
トーゴ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ナイジェリア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ナミビア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ニジェール	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブルキナファソ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ブルンジ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ベナン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ボツワナ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マイヨット島	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マダガスカル	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
マラウイ	発生	BEBIF, 2016; EPPO, 2021	
マリ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
南アフリカ共和国	発生	EPPO, 2020; NPPO of SA, 2020a; NPPO of SA, 2020b	
モザンビーク	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
モーリシャス	発生	Sookar <i>et al.</i> , 2020; EPPO, 2021	
モーリタニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
リベリア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
ルワンダ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
レユニオン	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
中南米			
ガイアナ	発生	<u>EPPO, 2024; Malavasi et al., 2013</u>	<u>発生ステータスを根絶から発生に変更</u>
スリナム	発生	Sauers-Muller, 2005; CABI, 2020; EPPO, 2020	

フランス領ギアナ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
大洋州			
オーストラリア領クリスマス島	発生	Queensland Government, 2020; CABI, 2020; EPPO, 2020	
北マリアナ諸島	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020;	ミクロネシア
グアム	未発生（根絶）	CABI, 2020	
ナウル	発生	CABI, 2020	ミクロネシア
パプアニューギニア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
パラオ	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	ミクロネシア
ハワイ諸島	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	
フランス領ポリネシア	発生	CABI, 2020; EPPO, 2020	ポリネシア

注) 備考欄の「追加」及び「発生ステータスを根絶から発生に変更」は、発生国等として令和7（2025）年1月21日改訂時に追加した国又は地域。

Bactrocera dorsalis species complex の寄主植物の根拠

学名	科名	属名	和名	英名	根拠文献	備考
<i>Theobroma cacao</i>	アオギリ科	カカオ属	カカオノキ	cacao	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Pouteria caimito</i>	アカテツ科	アカテツ属		abiu	Lemos <i>et al.</i> , 2014	
<i>Pouteria campechiana</i> (= <i>Lucuma nervosa</i> , <i>Lucuma</i> <i>rivicoa</i> , <i>Richardella</i> <i>campechiana</i>)	アカテツ科	アカテツ属	カニステル	canistel	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; CABI, 2018b; 内川ら, 2010; White and Elson- Harris, 1992; Badii <i>et al.</i> , 2015; 農林水産省 植物防疫所, 2018b; N'dépo <i>et al.</i> , 2010	
<i>Pouteria dukitan</i>	アカテツ科	アカテツ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Pouteria macrophylla</i>	アカテツ科	アカテツ属			Lemos <i>et al.</i> , 2014	
<i>Pouteria sapota</i>	アカテツ科	アカテツ属	ポウテリア・ アポタ	mammy sapote	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Chrysophyllum albidum</i>	アカテツ科	オーガストノ キ属	クリソフィル ム・アルビド ウム	African star apple	CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Chrysophyllum cainito</i>	アカテツ科	オーガストノ キ属	スイショウガ キ、スターア ップル	star apple	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; Meyer <i>et al.</i> , 2014; 農林 水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Chrysophyllum oliviforme</i> (= <i>Chrysophyllum monopyrenum</i>)	アカテツ科	オーガストノ キ属	クリソフィル ム・オリビフ オルメ	satinleaf	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Manilkara littoralis</i>	アカテツ科	サポジラ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Manilkara zapota</i> (= <i>Achra sapota</i> , <i>Achras zapota</i> ,	アカテツ科	サポジラ属	サポジラ	sapodilla	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら,	

<i>Manilkara achras</i>)					2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Lemos <i>et al.</i> , 2014; Isabirye <i>et al.</i> , 2016; N'dépo <i>et al.</i> , 2010	
<i>Vitellaria paradoxa</i> (= <i>Butyrospermum parkii</i>)	アカテツ科	シアーバター ノキ属	シアーバター ノキ	shea tree	CABI, 2020; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> 2015	
<i>Palaquium</i>	アカテツ科	パラクイウム 属	パラクイウム 属の一種		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Palaquium maingayi</i>	アカテツ科	パラクイウム 属	パラクイウ ム・メインガ イ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Planchonella</i>	アカテツ科	プランチョネ ラ属	プランチョネ ラ属の一種		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Planchonella duclitan</i>	アカテツ科	プランチョネ ラ属			CABI, 2020	
<i>Planchonella longipetiolatum</i>	アカテツ科	プランチョネ ラ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Mimusops elengi</i> (= <i>Mimusops</i> <i>parvifolia</i>)	アカテツ科	ミムソプス属	ミムソプス・ エレンギ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Ixora javanica</i>	アカネ科	イクソラ(サン タンカ)属	イクソラ・ジ ャワニカ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ixora macrothyrsa</i>	アカネ科	イクソラ(サン タンカ)属	イクソラ・マ クロティルサ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ochreinaucea maingayi</i>	アカネ科	オクレイナウ クレア属	オクレイナウ クレア・メイ ンゲイイ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Coffea arabica</i>	アカネ科	コーヒーノキ 属	アラビカコー ヒーノキ	arabica coffee	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Okawa, 1991; Harris <i>et al.</i> , 2003; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Isabirye <i>et al.</i> ,	

					2016	
<i>Coffea canephora</i>	アカネ科	コーヒーノキ属	ロブスタコーヒーノキ	robusta coffee	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Coffea liberica</i>	アカネ科	コーヒーノキ属	リベリカコーヒーノキ		White and Elson-Harris, 1992	
<i>Sarcocephalus latifolius</i> (= <i>Nauclea esculenta</i> , <i>Nauclea latifolia</i>)	アカネ科	サルコセファルス属	ネグロモモ		CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Nauclea orientalis</i> (= <i>Sarcocephalus cordatus</i>)	アカネ科	ナウクレア属	ナウクレア・オリエンタリス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Breonia chinensis</i> (= <i>Cephalanthus chinensis</i> , <i>Anthocephalus chinensis</i>)	アカネ科	ブレオニア属	ブレオニア・キネンシス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Morinda citrifolia</i> (= <i>Morinda elliptica</i>)	アカネ科	ヤエヤマアオキ属	ヤエヤマアオキ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Flacourtia indica</i> (= <i>Flacourtia ramontchi</i>)	イイギリ科	フラクールティア属	テンジクイヌカンコ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Flacourtia rukam</i>	イイギリ科	フラクールティア属	フラクールティア・ルカム		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diplocyclos palmatus</i> (= <i>Bryonopsis laciniosa</i>)	ウリ科	オキナワスズメウリ属	オキナワスズメウリ		内川ら, 2010	
<i>Cucurbita argyrosperma</i> (= <i>Cucurbita mixta</i>)	ウリ科	カボチャ属	ククルビタ・アルギロスペルマ	cushaw pumpkin	Vargas <i>et al.</i> , 2010	
<i>Cucurbita maxima</i>	ウリ科	カボチャ属	セイヨウカボチャ		CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> (<i>B. invadens</i>) の寄主植物であるとの報告があるのみ。

<i>Cucurbita pepo</i>	ウリ科	カボチャ属	ペポカボチャ	summer squash	CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Liquido <i>et al.</i> , 1994	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> (<i>B. invadens</i>) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Trichosanthes cucumeroides</i> (= <i>Trichosanthes ovigera</i>)	ウリ科	カラスウリ属	カラスウリ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010	
<i>Cucumis melo</i> (= <i>Bryonia collosa</i>)	ウリ科	キュウリ属	メロン	melon	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Cucumis sativus</i> (= <i>Cucumis sativa</i>)	ウリ科	キュウリ属	キュウリ	cucumber	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015	
<i>Kedrostis hirtella</i>	ウリ科	ケドロステス属	ケドロスティス・ヒルテラ		Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> (<i>B. invadens</i>) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Coccinia grandis</i> (= <i>Coccinia indica</i> , <i>Cephalandra indica</i>)	ウリ科	コッキニア属	コッキニア・グランディス (ヤサイカラスウリ)	ivy gourd	CABI, 2020; Liquido <i>et al.</i> , 1994; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; EPPO, 2020	
<i>Citrullus colocynthis</i>	ウリ科	スイカ属	コロシントウリ		CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	アフリカに分布している <i>B. dorsalis</i> (<i>B. invadens</i>) の寄主植物であるとの報告があるのみ。
<i>Citrullus vulgaris</i> (= <i>Citrullus lanatus</i>)	ウリ科	スイカ属	スイカ	watermelon	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015	
<i>Zehneria liukuensis</i>	ウリ科	スズメウリ属	クロミノオキナワスズメウ		内川ら, 2010	

			リ			
<i>Momordica balsamina</i>	ウリ科	ツルレイシ属	モモルディ カ・バルサミ ナ	balsam apple	Vargas <i>et al.</i> , 2010; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	
<i>Momordica charantia</i>	ウリ科	ツルレイシ属	ニガウリ、ツ ルレイシ	bitter gourd	CABI, 2020; Liquido <i>et al.</i> , 1994; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Lagenaria siceraria</i> (= <i>Lagenaria leucantha</i>)	ウリ科	ヒョウタン属	ユウガオ	bottle gourd	CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015	アフリカに分布して いる <i>B. dorsalis</i> (<i>B.</i> <i>invadens</i>) の寄主植物 であるとの報告があ るのみ。
<i>Luffa acutangula</i>	ウリ科	ヘチマ属	トカドヘチマ	ridge gourd	Badii <i>et al.</i> , 2015	アフリカに分布して いる <i>B. dorsalis</i> (<i>B.</i> <i>invadens</i>) の寄主植物 であるとの報告があ るのみ。
<i>Luffa cylindrica</i> (= <i>Luffa</i> <i>aegyptiaca</i>)	ウリ科	ヘチマ属	ヘチマ	sponge gourd	Badii <i>et al.</i> , 2015; EPPO, 2020	アフリカに分布して いる <i>B. dorsalis</i> (<i>B.</i> <i>invadens</i>) の寄主植物 であるとの報告があ るのみ。
<i>Alangium chinense</i>	ウリノキ科	ウリノキ属	アランギウ ム・キネンセ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Alangium salviifolium</i>	ウリノキ科	ウリノキ属	アランギウ ム・サルウィ ーフォーリウム	plu	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Bouea gandaria</i>	ウルシ科	アカタネノキ 属	アカタネノキ		農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991	

<i>Bouea macrophylla</i> (= <i>Bouea gandaria</i>)	ウルシ科	アカタネノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Bouea oppositifolia</i>	ウルシ科	アカタネノキ属	ヒメアカタネノキ	plum mango	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Anacardium occidentale</i>	ウルシ科	カシューナットノキ属	カシューナッツ	cashew	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Ndépo <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badli <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Sclerocarya birrea</i>	ウルシ科	スクレロカリア属	スクレロカリア・ビレア		Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badli <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016; CABI, 2020	
<i>Spondias cytherea</i>	ウルシ科	ニンメンシ属	タマゴノキ		Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Spondias dulcis</i> (= <i>Spondias cytherea</i>)	ウルシ科	ニンメンシ属	スポンディアス・ドウルキス		CABI, 2020	
<i>Spondias mombin</i> (= <i>Spondias axillaris</i> , <i>Spondias lutea</i>)	ウルシ科	ニンメンシ属	イエローモンビン	yellow mombin	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Okawa, 1991; Sauers-muller, 2005; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Almeida <i>et al.</i> , 2016; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Spondias pinnata</i>	ウルシ科	ニンメンシ属	アムラタマゴノキ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Spondias purpurea</i>	ウルシ科	ニンメンシ属	モンビン		CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Haematostaphis barteri</i>	ウルシ科	ハエマトスタフィス属	ハエマトスタフィス・バーテリ		Badli <i>et al.</i> , 2015	

<i>Holigama kurzii</i>	ウルシ科	ホリガルナ属	ホリガルナ・クルツィー		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Mangifera caesia</i>	ウルシ科	マンゴウ属	ビンジャイマンゴウ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Mangifera caloneura</i>	ウルシ科	マンゴウ属			Allwood <i>et al.</i> 1999	
<i>Mangifera foetida</i>	ウルシ科	マンゴウ属	ウママンゴウ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Mangifera griffithii</i>	ウルシ科	マンゴウ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Mangifera indica</i>	ウルシ科	マンゴウ属	マンゴウ	mango	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Sauers-muller, 2005; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Ndépo <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Lemos <i>et al.</i> , 2014; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Mangifera laurina</i>	ウルシ科	マンゴウ属	マンギフェラ・ローリーナ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Mangifera longipetiolata</i>	ウルシ科	マンゴウ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Mangifera odorata</i>	ウルシ科	マンゴウ属	ニオイマンゴウ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Mangifera pajang</i>	ウルシ科	マンゴウ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Calophyllum inophyllum</i>	オトギリソウ科	テリハボク属	テリハボク	Alexandrian laurel	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Garcinia atroviridis</i>	オトギリソウ科	フクギ属	グルグル		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Garcinia cowa</i>	オトギリソ	フクギ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	

	ウ科					
<i>Garcinia dioica</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020	
<i>Garcinia dulcis</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Sauers- muller, 2005	
<i>Garcinia griffithii</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Garcinia hombroniana</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Garcinia mangostana</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	マンゴスチン	mangosteen	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産 省植物防疫所, 2018b	
<i>Garcinia mannii</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	ガルシニア・ マンニイ		CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et</i> <i>al.</i> , 2014	
<i>Garcinia parvifolia</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Garcinia prainiana</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Garcinia sp.</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	フクギ属の一 種		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Garcinia speciosa</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Garcinia subelliptica</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	フクギ		内川ら, 2010	
<i>Garcinia xanthochymus</i>	オトギリソ ウ科	フクギ属	キヤニモモ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Mammea siamensis</i>	オトギリソ ウ科	マンメア属	マンメア・シ アメンシス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diospyros areolata</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	

<i>Diospyros blancoi</i>	カキノキ科	カキ属	ディオスピロス・ブランコイ	mabolo	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Diospyros castanea</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diospyros diepenhorstii</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diospyros egbert-walkeri</i>	カキノキ科	カキ属	リュウキュウコクタン		内川ら, 2010	
<i>Diospyros glandulosa</i>	カキノキ科	カキ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diospyros japonica</i>	カキノキ科	カキ属	リュウキュウマメガキ		内川ら, 2010	
<i>Diospyros kaki</i>	カキノキ科	カキ属	カキ	persimmon	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; Meyer <i>et al.</i> , 2014; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Diospyros malabarica</i>	カキノキ科	カキ属	インドガキ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diospyros maritima</i>	カキノキ科	カキ属	リュウキュウガキ		内川ら, 2010	
<i>Diospyros mespiliformis</i>	カキノキ科	カキ属			Badli <i>et al.</i> , 2015	
<i>Diospyros mollis</i>	カキノキ科	カキ属	タイコクタン		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diospyros montana</i>	カキノキ科	カキ属	ディオスピロス・モンタナ		CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Diospyros philippensis</i>	カキノキ科	カキ属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Diospyros roxburghii</i>	カキノキ科	カキ属			CABI, 2020	
<i>Diospyros utilis</i>	カキノキ科	カキ属	台湾コクタン (ケガ		農林水産省植物防疫所, 2018b	

			キ)			
<i>Averrhoa bilimbi</i>	カタバミ科	ゴレンシ属	ナガバノゴレンシ	bilimbi	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Averrhoa carambola</i>	カタバミ科	ゴレンシ属	ゴレンシ	carambola	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Lemos <i>et al.</i> , 2014	
<i>Opilia amentacea</i>	カナビキボク科	オピリア属	オピリア・アメントケア		Badli <i>et al.</i> , 2015	
<i>Carissa carandas</i>	キョウチクトウ科	カリッサ属	カリッサ・カラダス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Carissa macrocarpa</i>	キョウチクトウ科	カリッサ属		natal plum	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Carissa spinarum</i> (= <i>Carissa cochinchinensis</i> , <i>Carissa ovata</i>)	キョウチクトウ科	カリッサ属	カリッサ・スピナルム		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Thevetia peruviana</i> (= <i>Cascabela thevetia</i> , <i>Cerbera thevetia</i> , <i>Thevetia nerifolia</i>)	キョウチクトウ科	キバナキョウチクトウ属	キバナキョウチクトウ	yellow oleander	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Meyer <i>et al.</i> , 2014; EPPO, 2020;	
<i>Saba comorensis</i>	キョウチクトウ科	サバ属	サバ・コモレンシス		Badli <i>et al.</i> , 2015	
<i>Saba senegalensis</i>	キョウチクトウ科	サバ属	サバ・セネガレンシス	saba nut	Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badli <i>et al.</i> , 2015; CABI, 2020	
<i>Malpighia emarginata</i>	キントラノオ科	ヒイラギトラノオ属		acerola	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Lemos <i>et al.</i> , 2014	
<i>Malpighia glabra</i> (= <i>Malpighia puniceifolia</i>)	キントラノオ科	ヒイラギトラノオ属	アセロラ	acerola	CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005	

<i>Malpighia</i> spp.	キントラノ オ科	ヒイラギトラ ノオ属			農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Cinnamomum yabunikkei</i> (= <i>Cinnamomum japonicum</i> , <i>Cinnamomum tenuifolium</i>)	クスノキ科	クスノキ属	ヤブニッケイ		内川ら, 2010	
<i>Neolitsea sericea</i>	クスノキ科	シロダモ属	シロダモ		内川ら, 2010	
<i>Machilus thunbergii</i>	クスノキ科	タブノキ属	タブノキ		内川ら, 2010	
<i>Litsea japonica</i>	クスノキ科	ハマビワ属	ハマビワ		内川ら, 2010	
<i>Persea americana</i>	クスノキ科	ワニナシ属	アボカド	avocado	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Gnetum gnemon</i>	グネツム科	グネツム属	グネツム・グ ネモン		Okawa, 1991; Yong <i>et al.</i> , 2014	
<i>Gmelina elliptica</i>	クマツヅラ 科	グメリナ属	グメリナ・エ リプティカ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Gmelina philippensis</i>	クマツヅラ 科	グメリナ属	グメリナ・フ ィリップペンシ ス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Elaeagnus</i>	グミ科	グミ属			農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Licania</i> sp.	クリソバラ ヌス科	リカニア属			Almeida <i>et al.</i> , 2016	
<i>Ziziphus jujuba</i> (= <i>Ziziphus</i> <i>vulgaris</i> , <i>Ziziphus sativa</i>)	クロウメモ ドキ科	ナツメ属	サネブトナツ メ	jujube	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫 所, 2018b; Sauers-muller, 2005	
<i>Ziziphus mauritiana</i>	クロウメモ ドキ科	ナツメ属	インドナツメ	Indian jujube	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫 所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Ziziphus mucronata</i>	クロウメモ	ナツメ属			Badli <i>et al.</i> , 2015	

	ドキ科					
<i>Ziziphus nummularia</i> (= <i>Ziziphus rotundifolia</i>)	クロウメモ ドキ科	ナツメ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ziziphus oenoplia</i>	クロウメモ ドキ科	ナツメ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ipomoea senegalensis</i>	クロタキカ ズラ科	イカキナ属	イカキナ・セ ネガレンシス		Badli <i>et al.</i> , 2015	
<i>Ficus benjamina</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・ベン ジャミナ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ficus carica</i>	クワ科	イチジク属	イチジク	common fig	White and Elson-Harris, 1992; Vargas <i>et al.</i> , 2010	
<i>Ficus concolor</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・コン カティアン		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ficus elagdon</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・エ リゴドン		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ficus erecta</i>	クワ科	イチジク属	イヌビワ		内川ら, 2010	
<i>Ficus grossularioides</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・グ ロッセラリオ イデス		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ficus hispida</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・ヒ スピダ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ficus microcarpa</i>	クワ科	イチジク属	ガジュマル	Indian laurel	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Ficus ottoniifolia</i>	クワ科	イチジク属	フィクス・オ ットニーフォ リア		CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Ficus pumila</i>	クワ科	イチジク属	オオイタビ		内川ら, 2010	
<i>Ficus racemosa</i> (= <i>Ficus</i> <i>glomerata</i>)	クワ科	イチジク属	ウドンゲノキ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ficus septica</i>	クワ科	イチジク属	オオバイヌビ ワ		内川ら, 2010	

<i>Ficus sycomorus</i>	クワ科	イチジク属	イチジクグワ		Badli <i>et al.</i> , 2015; CABI, 2020	
<i>Ficus virgate</i>	クワ科	イチジク属	ハマイヌビワ		内川ら, 2010	
<i>Morus alba</i>	クワ科	クワ属	トウグワ	white mulberry	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Artocarpus altilis</i> (= <i>Artocarpus incisus</i> , <i>Artocarpus communis</i>)	クワ科	パンノキ属	パンノキ	breadfruit	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Badli <i>et al.</i> , 2015; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Artocarpus elasticus</i>	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Artocarpus heterophyllus</i> (= <i>Artocarpus integrifolia</i>)	クワ科	パンノキ属	パラミツ (ジャックフルーツ)	jack fruit	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Artocarpus integer</i>	クワ科	パンノキ属	コパラミツ	Chempedak	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Artocarpus lacucha</i> (= <i>Artocarpus lakoocha</i>)	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Artocarpus lanceifolius</i>	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Artocarpus nitidus</i> (= <i>Artocarpus lanceolatus</i>)	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Artocarpus odoratissimus</i>	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Artocarpus rigidus</i>	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Artocarpus sericarpus</i>	クワ科	パンノキ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Punica granatum</i>	ザクロ科	ザクロ属	ザクロ	pomegranate	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Hylocereus undatus</i> (= <i>Cereus undatus</i>)	サボテン科	ヒロセレウス属	ヒロセレウス・ウンダー	dragon fruit, red pitaya	CABI, 2020; 農林水産省植物防疫所, 2018b; 岩泉ら, 1995	

			ツス			
<i>Terminalia catappa</i>	シクンシ科	モモタマナ属	モモタマナ	singapore almond	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Harris <i>et al.</i> , 2003; Sauers-muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Okawa, 1991; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Microcos tomentosa</i> (=Grewia paniculata)	シナノキ科	ミクロコス属	ミクロコス・トメントサ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Alpinia mutica</i>	ショウガ科	ハナミョウガ属	アルピニア・ムティカ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Viburnum japonicum</i>	スイカズラ科	ガマズミ属	ハクサンボク		内川ら, 2010	
<i>Azadirachta excelsa</i>	センダン科	アザディラクタ属	アザディラクタ・エクセルサ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Sandoricum indicum</i> (=Sandoricum koetjape, (=Sandoricum nervosum)	センダン科	サンドリカム属	サントール	santol	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Heynea trijuga</i> (=Walsura intermedia)	センダン科	ヘイネア属	ヘイネア・トリジュガ	tagat tagyi	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Lansium parasiticum</i> (=Lansium domesticum, Aglaia domestica, Aglaia dookoo)	センダン科	ランサ属	ランサット	langsai	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991	
<i>Excoecaria agallochaf</i>	トウダイグサ科	エクスコエカリア属	エクスコエカリア・アガロカ	tayaw	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Sauropus androgynus</i>	トウダイグサ科	サウロプス属	アマメシバ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	

<i>Breynia racemosa</i> (= <i>Breynia reclinata</i>)	トウダイグサ科	タカサゴコバンノキ属	ブレイニア・ラケモサ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Bischofia javanica</i>	トウダイグサ科	ビースチョフィア属	アカギ		内川ら, 2010	
<i>Baccaurea motleyana</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	ランバイ	rambai	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Baccaurea racemosa</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	バッカウレア・ラケモサ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Baccaurea ramiflora</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	バッカウレア・ラミフロラ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Baccaurea sapida</i>	トウダイグサ科	ランバイ属	インドメテング	Burmese grape	農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991	
<i>Passiflora edulis</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	クダモノトケイ	passion fruit	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Passiflora foetida</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	パッシフロラ・フェティータ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Passiflora laurifolia</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	ミズレモン		CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Passiflora mollissima</i>	トケイソウ科	トケイソウ属			White and Elson-Harris, 1992	
<i>Passiflora quadrangularis</i> (= <i>Passiflora macrocarpa</i>)	トケイソウ科	トケイソウ属	オオナガミクダモノトケイ	granadilla	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Passiflora suberosa</i>	トケイソウ科	トケイソウ属	パッシフロラ・スベロサ		CABI, 2020	
<i>Capsicum annum</i>	ナス科	トウガラシ属	トウガラシ	chili pepper, sweet pepper	CABI, 2020; Liquido <i>et al.</i> , 1994; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> ,	

					2014; Badli <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Capsicum chinense</i>	ナス科	トウガラシ属			Lemos <i>et al.</i> , 2014; CABI, 2020	
<i>Capsicum frutescens</i>	ナス科	トウガラシ属	キダチトウガラシ		CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Lycopersicon esculentum</i> (= <i>Solanum lycopersicum</i>)	ナス科	トマト属	トマト	tomato	CABI, 2020; Liquido <i>et al.</i> , 1994; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Harris <i>et al.</i> , 2003; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badli <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Solanum aculeatissimum</i>	ナス科	ナス属			Liquido <i>et al.</i> , 1994; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Solanum aethiopicum</i>	ナス科	ナス属		scarlet eggplant	Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badli <i>et al.</i> , 2015; CABI, 2020	
<i>Solanum americanum</i>	ナス科	ナス属	テリミノイヌホオズキ	glossy nightshade	CABI, 2020; Vargas <i>et al.</i> , 2010	
<i>Solanum anguivi</i>	ナス科	ナス属			Meyer <i>et al.</i> , 2014; CABI, 2020	
<i>Solanum auriculatum</i>	ナス科	ナス属			White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum capsicoides</i>	ナス科	ナス属	キンギンナスビ		CABI, 2020; 内川ら, 2010	
<i>Solanum erianthum</i> (= <i>Solanum verbascifolium</i>)	ナス科	ナス属	ヤンバルナスビ		内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum ferox</i> (= <i>Solanum lasiocarpum</i>)	ナス科	ナス属			Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum granuloso-leprosum</i>	ナス科	ナス属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Solanum hazenii</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020	
<i>Solanum incanum</i> (= <i>Solanum coagulans</i>)	ナス科	ナス属			Allwood <i>et al.</i> , 1999; Meyer <i>et al.</i> , 2014; CABI, 2020	
<i>Solanum melongena</i>	ナス科	ナス属	ナス	eggplant	CABI, 2020; Liquido <i>et al.</i> , 1994; Allwood <i>et</i>	

					<i>al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Badii <i>et al.</i> , 2015	
<i>Solanum muricatum</i>	ナス科	ナス属	ペピーノ	pepino	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum nigrum</i>	ナス科	ナス属	イヌホオズキ	black nightshade	内川ら, 2010; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Solanum rudepannum</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020	
<i>Solanum seaforthianum</i>	ナス科	ナス属	フサナリツル ナス		内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum sodomaeum</i>	ナス科	ナス属			Meyer <i>et al.</i> , 2014; CABI, 2020	
<i>Solanum stramonifolium</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Solanum torvum</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Solanum trilobatum</i>	ナス科	ナス属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Physalis minima</i>	ナス科	ホオズキ属	フィサリス・ ミニマ		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Lycianthes biflora</i>	ナス科	リシアンセス 属	メジロホオズ キ		内川ら, 2010	
<i>Irvingia malayana</i>	ニガキ科	イルビキア属	イルビンギ ア・マラヤナ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Irvingia gabonensis</i>	ニガキ科	イルビキア属	イルビンギ ア・ガボネン シス		CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015; Ndépo <i>et al.</i> , 2010	
<i>Celtis tetrandra</i>	ニレ科	エノキ属	セルティス・ テトランドラ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Crescentia cujete</i>	ノウゼンカ ズラ科	クレスケンテ ィア属	ヒョウタンノ キ	calabash tree	Badii <i>et al.</i> , 2015	
<i>Musa acuminata</i> (=Musa nana)	バショウ科	バショウ属	ミバショウ (アクミナー タ)		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	成熟していないバナ ナの生果実を除く
<i>Musa balbisiana</i>	バショウ科	バショウ属	リュウキュウ イトバショウ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	成熟していないバナ ナの生果実を除く

<i>Musa sapientum</i>	バショウ科	バショウ属			内川ら, 2010	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa troglodytarum</i>	バショウ科	バショウ属			CABI, 2020	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa x paradisiaca</i> (= <i>Musa paradisiaca</i>)	バショウ科	バショウ属		plantain	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Musa</i>	バショウ科	バショウ属	バショウ属	banana	CABI, 2020; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	成熟していないバナナの生果実を除く
<i>Carica papaya</i>	パパイア科	パパイア属	パパイア	papaya	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Ndépo <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badli <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Fragaria X ananassa</i>	バラ科	オランダイチゴ属	オランダイチゴ	strawberry	Iwaizumi <i>et al.</i> , 1994; 朱・陳, 1985	
<i>Rubus croceacanthus</i>	バラ科	キイチゴ属	オオバライチゴ		内川ら, 2010	
<i>Chrysobalanus icaco</i>	バラ科	クリソバラヌス属	クリソバラヌス・イカコ	cocoplum	White and Elson-Harris, 1992; Lemos <i>et al.</i> , 2014	
<i>Prunus americana</i>	バラ科	サクラ属	アメリカスモモ	American plum	農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Prunus armeniaca</i>	バラ科	サクラ属	アンズ	apricot	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Prunus avium</i>	バラ科	サクラ属	サクランボ (カンカオウトウ)	sweet cherry	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Prunus campanulata</i> (= <i>Cerasus campanulata</i>)	バラ科	サクラ属	カンヒザクラ		内川ら, 2010	

<i>Prunus cerasifera</i>	バラ科	サクラ属	ミロバランス モモ		White and Elson-Harris, 1992	
<i>Prunus cerasoides</i>	バラ科	サクラ属	ヒマラヤザク ラ		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Prunus cerasus</i>	バラ科	サクラ属	スミノセイヨ ウミザクラ	sour cherry	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Prunus domestica</i>	バラ科	サクラ属	セイヨウスモ モ	common plum	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas <i>et al.</i> , 2010	
<i>Prunus mume</i>	バラ科	サクラ属	ウメ	Japanese apricot	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Prunus persica</i>	バラ科	サクラ属	モモ	peach	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Meyer <i>et al.</i> , 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Prunus salicina</i>	バラ科	サクラ属	ニホンスモモ	Japanese plum	CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Pyrus communis</i>	バラ科	ナシ属	セイヨウナシ	European pear	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Pyrus pyrifolia</i> (= <i>Pyrus serotina</i>)	バラ科	ナシ属	ニホンナシ	Japanese pear	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Okawa, 1991	
<i>Parinari anamensis</i>	バラ科	パリナリ属	パリナリ・ア ナメンシス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Eriobotrya japonica</i> (= <i>Photinia japonica</i>)	バラ科	ビワ属	ビワ	loquat	CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Cydonia oblonga</i>	バラ科	マルメロ属	マルメロ	quince	Isabirye <i>et al.</i> , 2016; Akbar, 2019	
<i>Malus domestica</i> (= <i>Pyrus</i>	バラ科	リンゴ属	リンゴ	apple	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and	

<i>malus, Malus pumila)</i>					Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Artabotrys monteiroae</i>	バンレイシ科	アルタボトリス属	アルタボトリス・モンテイロアエ		Badli <i>et al.</i> , 2015	
<i>Artabotrys siamensis</i>	バンレイシ科	アルタボトリス属	アルタボトリス・シアメンシス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Uvaria chamae</i>	バンレイシ科	ウバリア属	ウバリア・カマエ		Ndiaye <i>et al.</i> , 2015	
<i>Uvaria grandiflora</i>	バンレイシ科	ウバリア属	ウバリア・グランディフロラ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Desmos chinensis</i>	バンレイシ科	デスモス属	デスモス・キネンシス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Annona cherimola</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	チェリモヤ	cherimoya	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Vargas <i>et al.</i> , 2010	
<i>Annona glabra</i>	バンレイシ科	バンレイシ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Annona macrophyllata</i> (= <i>Annona diversifolia</i>)	バンレイシ科	バンレイシ属			Meyer <i>et al.</i> , 2014; CABI, 2020; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; シノニム: EPPO, 2020	
<i>Annona montana</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	マウンティンサワーソップ	mountain soursop	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Annona muricata</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	トゲバンレイシ	soursop	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badli	

					<i>et al.</i> , 2015	
<i>Annona reticulata</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	ギユウシンリ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; Ndépo <i>et al.</i> , 2010	
<i>Annona senegalensis</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	アンノナ・セネガレンシス	African custard apple	CABI, 2020; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Annona squamosa</i>	バンレイシ科	バンレイシ属	バンレイシ	sugar apple	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Polyalthia longifolia</i>	バンレイシ科	ポリアルティア属	ポリアルティア・ロンギフォリア		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Ranganath <i>et al.</i> , 1999	
<i>Rollinia mucosa</i> (=Rollinia pulchrinervia)	バンレイシ科	ロリニア属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Lemos <i>et al.</i> , 2014; EPPO, 2020	
<i>Xanthophyllum amoenum</i>	ヒメハギ科	キサントフィルム属	キサントフィルム・アモエヌム		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Xanthophyllum flavescens</i>	ヒメハギ科	キサントフィルム属	キサントフィルム・フラウエスケンス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Dillenia obovata</i>	ビワモドキ科	ディレニア(ビワモドキ)属	ディレニア・オボバタ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Capparis sepiaria</i>	フウチョウソウ科	カッパリス属	カッパリス・セピアリア		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Capparis tomentosa</i>	フウチョウソウ科	カッパリス属	カッパリス・トメントサ		Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	

<i>Fagraea ceilanica</i>	マチン科	ファグラエア属	ファグラエア・ケイラニカ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Fagraea racemosa</i>	マチン科	ファグラエア属	ファグラエア・ラケモサ		Ranganath <i>et al.</i> , 1999;	
<i>Vitis</i>	ブドウ科	ブドウ属			Okawa, 1991	
<i>Vitis vinifera</i>	ブドウ科	ブドウ属	ヨーロッパブドウ	European grape	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Rhodomyrtus tomentosa</i>	フトモモ科	テンニンカ属	テンニンカ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Psidium cattleianum</i> (= <i>Psidium littorale</i>)	フトモモ科	バンジロウ属	テリハバンジロウ (キバンジロウ)	strawberry guava	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Psidium guajava</i>	フトモモ科	バンジロウ属	バンジロウ (グアバ)	guava	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauersmuller, 2005; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Lemos <i>et al.</i> , 2014; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Badii <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Psidium guineense</i>	フトモモ科	バンジロウ属		Guinea guava	Almeida <i>et al.</i> , 2016	
<i>Feijoa sellowiana</i> (= <i>Acca sellowiana</i>)	フトモモ科	フェイジョア属	フェイジョア	feijoa	Vargas <i>et al.</i> , 2010; Badii <i>et al.</i> , 2015; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Syzygium borneense</i> (= <i>Eugenia pseudosubtilis</i>)	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Syzygium cumini</i> (= <i>Eugenia cumini</i> , <i>E. jambolana</i>)	フトモモ科	フトモモ属	ムラサキフトモモ (ジャンボラン)	jambolan	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Okawa, 1991; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Almeida <i>et al.</i> , 2016	

<i>Syzygium formosanum</i>	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Syzygium jambos</i> (= <i>Eugenia jambos</i> , <i>Caryophyllus jambos</i>)	フトモモ科	フトモモ属	フトモモ	rose apple	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Syzygium malaccense</i> (= <i>Eugenia malaccense</i>)	フトモモ科	フトモモ属	マレイフトモモ	Malay apple	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Lemos <i>et al.</i> , 2014; Ndépo <i>et al.</i> , 2010	
<i>Syzygium megacarpum</i> (= <i>Eugenia macrocarpa</i> , <i>Eugenia megacarpa</i>)	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Syzygium nervosum</i> (= <i>Eugenia paniata</i>)	フトモモ科	フトモモ属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Eugenia aquea</i> (= <i>Syzygium aqueum</i>)	フトモモ科	ユーゲニア属	ミズレンブ	water rose apple	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Eugenia caryophyllata</i> (= <i>Syzygium aromaticum</i>)	フトモモ科	ユーゲニア属	チョウジノキ	dove tree	CABI, 2020; CABI, 2018b	
<i>Eugenia grandis</i> (= <i>Syzygium grande</i>)	フトモモ科	ユーゲニア属			CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Eugenia javanica</i> (= <i>Syzygium samarangense</i>)	フトモモ科	ユーゲニア属	レンブ	wax apple	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Sauers-muller, 2005; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Eugenia longiflora</i> (= <i>Syzygium lineatum</i>)	フトモモ科	ユーゲニア属	ユーゲニア・ロンギフローラ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Eugenia patrisii</i> (= <i>Myrtus patrisii</i>)	フトモモ科	ユーゲニア属			Sauers-muller, 2005	

<i>Eugenia reinwardtiana</i>	フトモモ科	ユーゲニア属			CABI, 2020	
<i>Eugenia stipitata</i>	フトモモ科	ユーゲニア属			Lemos <i>et al.</i> , 2014; CABI, 2020	
<i>Eugenia uniflora</i> (= <i>Syzygium michelii</i>)	フトモモ科	ユーゲニア属	ユーゲニア・ユニフローラ、タチバナアデク	Surinam cherry	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Almeida <i>et al.</i> , 2016; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Muntingia calabura</i>	ホルトノキ科	ナンヨウザクラ属	ナンヨウザクラ	Jamaica cherry	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Elaeocarpus hygrophilus</i> (= <i>Elaeocarpus madopetalus</i>)	ホルトノキ科	ホルトノキ属	エラエオカルプス・ハイグロフィルス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Ximenia americana</i>	ボロボロノキ科	キシメニア属	キシメニア・アメリカナ	hog plum	CABI, 2020; Ndiaye <i>et al.</i> , 2015; Badii <i>et al.</i> , 2015	
<i>Schoepfia fragrans</i>	ボロボロノキ科	ボロボロノキ属	スコエフィア・フラグランス		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Afzelia xylocarpa</i>	マメ科	アフゼリア属	アフゼリア・クシロカルパ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Pithecellobium dulce</i>	マメ科	キンキュジュ属	キンキジュ	Manila tamarind	White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Cordyla pinnata</i>	マメ科	コルディラ属	コルディラ・ピンナータ		Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Inocarpus fagifer</i> (= <i>Inocarpus edulis</i>)	マメ科	タイヘイヨウクルミ属	タイヘイヨウグルミ	Tahitian chestnut	CABI, 2020	
<i>Parkia biglobosa</i>	マメ科	パルキア属	ヒロハフサマメノキ	Néré	Badii <i>et al.</i> , 2015	
<i>Parkia speciosa</i>	マメ科	パルキア属	ネジレフサマメノキ	bitter bean	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Aegle marmelos</i>	ミカン科	アエグレ属	ベルノキ	bael fruit	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	

<i>Poncirus trifoliata</i>	ミカン科	カラタチ属	カラタチ	trifoliate orange	CABI, 2020	
<i>Fortunella japonica</i>	ミカン科	キンカン属	マルキンカン	round kumquat	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	
<i>Fortunella margarita</i>	ミカン科	キンカン属	ナガミキンカン	limequat	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Fortunella polyandra</i>	ミカン科	キンカン属	ナガハキンカン		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Fortunella japonica</i> × <i>Citrus aurantifolia</i>	ミカン科	キンカン属 × ミカン属			Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	
<i>Murraya paniculata</i> (= <i>Murraya exotica</i>)	ミカン科	ゲッキツ属	ゲッキツ		CABI, 2020; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Toddalia asiatica</i>	ミカン科	サルカケミカン属	サルカケミカン		内川ら, 2010	
<i>Citrofortunella microcarpa</i> (= <i>Citrofortunella mitis</i> , <i>Citrus x microcarpa</i> , <i>Citrus mitis</i>)	ミカン科	シトロフォーチュネラ属	シトロフォーチュネラ・ミクロカルパ	calamondin orange	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Tetractomia majus</i>	ミカン科	テトラクトミア属	テトラクトミア・マジュス		Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Triphasia trifolia</i>	ミカン科	トリファシア属	トリファシア・トリフォリア (グミミカン)	limeberry	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Glycosmis pentaphylla</i>	ミカン科	ハナシンボウギ属	グリコスミス・ペンタフィラ	orangeberry	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Paramignya andamanica</i>	ミカン科	パラミグニア属	パラミグニア・アンダマニカ		Allwood <i>et al.</i> , 1999	

<i>Citrus × aurantium</i> (= <i>Citrus aurantium</i> , <i>Citrus × tangelo</i>)	ミカン科	ミカン属	ダイダイ、クネンボ	sour orange	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Almeida <i>et al.</i> , 2016; Ndépo <i>et al.</i> , 2010	
<i>Citrus × clementina</i>	ミカン科	ミカン属	クレメンティン	clementine	Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	
<i>Citrus aurantifolia</i>	ミカン科	ミカン属	メキシカンライム	Key lime	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus depressa</i>	ミカン科	ミカン属	ヒラミレモン (シクワシャー)		内川ら, 2010	
<i>Citrus grandis</i> × <i>Citrus tangerine</i>	ミカン科	ミカン属	セミノール		内川ら, 2010	
<i>Citrus hystrix</i>	ミカン科	ミカン属	コブミカン (スワンギ)	kaffir lime	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus jambhiri</i>	ミカン科	ミカン属		rough lemon	CABI, 2020	
<i>Citrus keraji</i> var. <i>kabuchii</i>	ミカン科	ミカン属			内川ら, 2010	
<i>Citrus latifolia</i>	ミカン科	ミカン属	タヒチライム	Persian lime	CABI, 2020	
<i>Citrus limetta</i>	ミカン科	ミカン属		sweet lime	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Citrus limon</i>	ミカン科	ミカン属	レモン	lemon	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; White and Elson-Harris, 1992; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Citrus limonia</i>	ミカン科	ミカン属	カントンレモン		CABI, 2018a	
<i>Citrus madurensis</i>	ミカン科	ミカン属	シキキツ (トウキンカン)		Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus margarita</i>	ミカン科	ミカン属	ナガミキンカン		内川ら, 2010	

<i>Citrus maxima</i> (= <i>Citrus grandis</i>)	ミカン科	ミカン属	ポメロ、ブタン	pummelo, pomelo	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; 農林水産省植物防疫所, 2018b; N'dépo <i>et al.</i> , 2010	
<i>Citrus medica</i>	ミカン科	ミカン属	シトロソ	citron	White and Elson-Harris, 1992	
<i>Citrus microcarpa</i>	ミカン科	ミカン属			Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Citrus nobilis</i>	ミカン科	ミカン属			内川ら, 2010; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Citrus oto</i>	ミカン科	ミカン属	オートー		内川ら, 2010	
<i>Citrus paradisi</i>	ミカン科	ミカン属	グレープフルーツ	grapefruit	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Sauers-muller, 2005; Vargas <i>et al.</i> , 2010; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Citrus reticulata</i> (= <i>Citrus deliciosa</i>)	ミカン科	ミカン属	マンダリンオレンジ	mandarin orange	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Sauers-muller, 2005; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; 農林水産省植物防疫所, 2018b; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Vargas <i>et al.</i> , 2010; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Almeida <i>et al.</i> , 2016; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	
<i>Citrus reticulata</i> × <i>Citrus paradisi</i>	ミカン科	ミカン属		tangélo	Goergen <i>et al.</i> , 2011; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	
<i>Citrus reticulata</i> × <i>Citrus sinensis</i>	ミカン科	ミカン属		tangor	Ndiaye <i>et al.</i> , 2012	
<i>Citrus sinensis</i>	ミカン科	ミカン属	スウィートオレンジ	sweet orange	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Mwatawala <i>et al.</i> , 2006; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; N'dépo <i>et al.</i> , 2010; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; Meyer <i>et al.</i> , 2014; Isabirye <i>et al.</i> , 2016	

<i>Citrus sinensis</i> × <i>Citrus reticulate</i>	ミカン科	ミカン属			Goergen <i>et al.</i> , 2011	
<i>Citrus swinglei</i>	ミカン科	ミカン属			CABI, 2020	
<i>Citrus tamurana</i>	ミカン科	ミカン属	ヒュウガナツ ミカン		内川ら, 2010	
<i>Citrus tangerina</i>	ミカン科	ミカン属			Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992	
<i>Citrus tankan</i>	ミカン科	ミカン属	タンカン		内川ら, 2010	
<i>Citrus unshiu</i>	ミカン科	ミカン属	ウンシュウミ カン	Satsuma mandarin	内川ら, 2010	
<i>Clausena lansium</i> (= <i>Clausena wampi</i>)	ミカン科	ワンピ属	ワンピ	wampee	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Turpinia temata</i>	ミツバウツ ギ科	ショウベンノ キ属	ショウベンノ キ		内川ら, 2010	
<i>Nephelium lappaceum</i>	ムクロジ科	ネフェリューム 属	ランブータン	rambutan	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Blighia sapida</i> (= <i>Cupania sapida</i>)	ムクロジ科	ブリギア属	アキー	akee	CABI, 2020; White and Elson-Harris, 1992; Goergen <i>et al.</i> , 2011; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Dimocarpus longan</i> (= <i>Euphoria longan</i>)	ムクロジ科	リュウガン属	リュウガン	longan	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 内川ら, 2010; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Litchi chinensis</i> (= <i>Nephelium litchi</i>)	ムクロジ科	レイシ属	レイシ	lichi	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Lepisanthes rubiginosa</i>	ムクロジ科	レピサンセス 属	レピサンテ ス・ルビギノ サ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Lepisanthes tetraphylla</i>	ムクロジ科	レピサンセス 属	レピサンテ ス・テトラフ ィラ		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	

<i>Cordia myxa</i>	ムラサキ科	コルディア (カキバチシ ャノキ) 属	コルディア・ ミクサ		CABI, 2020; Rwomushana <i>et al.</i> , 2008; Meyer <i>et al.</i> , 2014	
<i>Ehretia dicksonii</i> (= <i>Ehretia dicksonii</i> var. <i>japonica</i>)	ムラサキ科	チシャノキ属	マルバチシャ ノキ		内川ら, 2010	
<i>Olea europaea</i>	モクセイ科	オリーブ属	オリーブ	olive	White and Elson-Harris, 1992; Okawa, 1991	
<i>Chionanthus parkinsonii</i> (= <i>Linociera parkinsoni</i>)	モクセイ科	ヒトツバタゴ 属	キオナンツ ス・パーキン ソニー		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999 シノニム: WCSP	
<i>Myxopyrum smilacifolium</i>	モクセイ科	ミクソピルム 属	ミクソピル ム・スミラキ フォリウム		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Areca catechu</i>	ヤシ科	アレカ属	ビンロウジュ	betel palm	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; Allwood <i>et al.</i> , 1999; 農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Borassus flabellifer</i>	ヤシ科	オウギヤシ属	オウギヤシ	palmyra palm	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Arenga pinnata</i> (= <i>Arenga saccharifera</i>)	ヤシ科	クロツグ (ア レンガ) 属	サトウヤシ	suger palm	CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999; White and Elson-Harris, 1992; Drew and Hancock, 1994; シノニム: EPPO, 2020; WCSP	
<i>Arenga tremula</i>	ヤシ科	クロツグ (ア レンガ) 属	コミノクロツ グ		内川ら, 2010	
<i>Arenga tremula</i> var. <i>engleri</i> (= <i>Arenga engleri</i>)	ヤシ科	クロツグ (ア レンガ) 属	クロツグ	formosa palm	内川ら, 2010	
<i>Arenga westerhoutii</i>	ヤシ科	クロツグ (ア レンガ) 属	アレンガ・ウ ェスターハウ ティー		CABI, 2020; Allwood <i>et al.</i> , 1999	
<i>Salacca zalacca</i> (= <i>Salacca edulis</i>)	ヤシ科	サラカ属	サラカヤシ	salak	農林水産省植物防疫所, 2018b	
<i>Phoenix dactylifera</i>	ヤシ科	フェニックス	ナツメヤシ	date palm	White and Elson-Harris, 1992; Ndiaye <i>et al.</i> , 2012; 農林水産省植物防疫所, 2018b	

		属				
<i>Myrica rubra</i>	ヤマモモ科	ヤマモモ属	ヤマモモ	red bayberry	内川ら, 2010	

※イエローピタヤを寄主植物としない根拠

いずれの学名においても、本種がイエローピタヤを加害する情報はないため、イエローピタヤは寄主植物ではないと判断した。

なお、イエローピタヤの学名として近年は *Selenicereus megalanthus* (= *Hylocereus megalanthus*) (Korotkova *et al.*, 2017; Ulloa Ulloa *et al.*, 2017) とし、各国の植物分類に関わる機関のサイト（英国王立植物園(Plants of the World online); ミズーリ植物園(Tropics); European Distributed Institute of Taxonomy(EDIT); フランス国立自然史博物館(Muséum national d'Histoire naturelle)）においてもこれを採用している（Plants of the World online, 2020; Tropics, 2020; EDIT, 2020; IPN, 2020）。しかしながら、*Hylocereus megalanthus* (= *Selenicereus megalanthus*) と分類される文献（Bauer, 2003; Tel-Zu *et al.*, 2004）もあることから、農林水産省植物防疫所においては従来どおりイエローピタヤは *Hylocereus megalanthus* と表記する。

***Bactrocera dorsalis* species complex の寄主植物に関連する経路の年間輸入検査量**
(発生国からの貨物、郵便物及び携帯品)

消費生植物（果実）

単位（数量）：kg

イタリックの国名は、当該植物が2国間の条件付きとして輸入されている対象国

植物名	生産国	2021		2022		2023	
		件数	数量	件数	数量	件数	数量
Averrhoa bilimbi(ヒ リビソ)	バングラ シュ	1	1				
	フィリピン	1	1				
Capsicum annum var. grossum (PIMENTO)(ヒ ーマン)	ホー ン			1	1		
Capsicum annuum(トカ ー)	ホー ン	6	8,500				
Carica papaya(パ パイヤ)	ハワイ諸島	105	160,740	121	157,910	152	156,318
	フィリピン	221	927,533	239	864,756	269	919,867
	台湾	1	2,094				
Citrus grandis(ブ ン(ホ ー))	タイ	8	24,746	7	12,597		
	台湾	19	46,413	24	93,528	17	30,339
Citrus limon(レ モン)	ホー ン	1	1				
	南ア フリカ	74	2,791,313	51	1,608,040	46	2,045,620
Citrus paradisi(グ レー プフルツ)	南ア フリカ	819	28,318,832	730	21,230,478	393	16,150,290
Citrus reticulata 'Ponkan'(ホ ンカン)	台湾	9	46,471	6	36,442	8	44,800
Citrus sinensis(レ ン ジ)	南ア フリカ	56	1,284,274	49	1,028,682	28	623,283
Diospyros kaki(カ キ)	ア ン グ ラ ン ジ ヤ ン			1	540	1	495
Elaeocarpus(ホ ト ノ キ 属)	インド			2	2		
	ス リ ラン カ	12	15	31	36		
	バ ン グ ラ ン ジ ヤ ン			2	3		
	ミ ヤ ン マ ー	1	1				
Fragaria X ananassa(オ ラン ダ イ チ ゴ)	ホー ン			1	1		
Garcinia mangostana(マ ン ゴ ス チ ン)	タイ	81	62,748	76	81,993	146	142,161

Gnetum gnemon(ゲネム)	インドネシア	1	1				
Hylocereus undatus* costaricensis(ヒロセレウス・ウンダース・コスタリケンシス雑種)	ベトナム	314	1,235,983	279	1,057,596	157	663,838
Hylocereus undatus(ヒロセレウス・ウンダース(ドラゴンフルーツ。レッドヒップ))	ベトナム	286	1,048,736	245	952,237	179	783,882
Litchi chinensis(ライチ)	ベトナム	86	168,997	32	100,010	50	108,222
	台湾	105	190,397	99	134,385	87	135,018
	中国	28	304,152	21	236,832	20	197,620
Malus pumila var. domestica(リンゴ)	オマーン			1	1		
Mangifera indica(マンゴー)	アゼルバイジャン					2	103
	インド	41	57,426	48	47,288	64	52,481
	タイ	582	1,155,600	577	913,289	868	985,932
	パキスタン	53	244,027	66	146,796	75	187,909
	フィリピン	32	59,008	8	5,860	12	11,243
	ベトナム	227	596,901	189	852,593	278	1,072,366
	台湾	343	860,499	259	522,669	297	719,487
Musa acuminata(=Musa nana)(ミバショウ(アケミナタ))	インド			1	10	2	20
	インドネシア	2	67				
	ウガンダ	2	1,020				
	カボジア	35	495,092	2	44	4	142
Musa nana(=Musa acuminata)(ミバショウ(三尺バナナ))	台湾	1	30				
Musa paradisiaca var. sapientum(バナナ)	アゼルバイジャン	1	1			1	1
	インド	3	32	7	14	6	13
	インドネシア	44	602,317	53	727,592	41	540,551
	ウガンダ	3	50	13	239	13	193
	ガーナ	11	43	21	118	19	97
	ガボン	1	3				
	カメルーン	1	4	1	8	3	10
	カボジア	1	36	1	1	31	553,469
	ケニア			1	5		
	コートジボワール	1	1				
	コンゴ民主共和国			1	5	1	2
	シガポール					3	3

	スリランカ	3	5	17	31	13	42
	タイ	227	2,529,411	201	2,300,194	122	1,153,720
	タンザニア	1	4	1	8	1	4
	ナイジェリア	10	41	15	52	3	16
	パール			1	1		
	ハワイ諸島			1	1	1	1
	バングラデシュ	3	3	6	8	8	11
	フィリピン	85	3,506,125	104	2,773,846	137	2,813,040
	ブルンジ	1	9				
	ベトナム	169	2,673,736	235	3,873,353	314	7,518,933
	ベナン			1	3		
	マレーシア			3	4	4	5
	ラオス	2	6,862	29	445,503	74	1,188,003
	ルワンダ	1	4				
	香港			1	5	3	3
	台湾	176	1,760,236	150	1,100,352	191	1,242,174
	中国			1	1	9	9
	仏領マダガスカル					1	1
Musa paradisiaca(料理用 バナナ)	インド			7	105	25	235
	カンガ	1	2	1	15	2	5
	ガーナ	2	20	4	68	1	5
	カメルーン	1	2				
	コンゴ民主共和国			1	3		
	ナイジェリア	1	2	3	15	3	24
	フィリピン			2	5		
	ベトナム	3	2,319				
	ルワンダ					1	5
	台湾	3	624	1	1,200		
Musa(バナナ属(バナナ))	インド	94	3,239	139	3,292	146	3,891
	インドネシア	3	142				
	カンガ	15	5,580	7	3,047	5	2,113
	ガボン					1	6
	カメルーン			1	38		
	カボジア			5	231	1	1
	スリランカ	185	3,402	73	1,070	16	194
	タイ			2	26	5	447
	バングラデシュ			1	2		
	フィリピン	7	104	5	55	6	503
	ベトナム	15	458	9	376	18	20,982
	ラオス	11	149,250	5	82,500		
	台湾	44	192,986	17	35,058	9	15,249

Musa(バナナ(カカバ))	フィリピン	321	106,247	422	166,440	439	141,277
Musa(バナナ(キャベツイッシュ))	インドネシア	95	1,467,102	116	1,823,262	149	2,285,713
	カボジア					16	294,320
	タイ	26	81,654	27	35,966		
	フィリピン	5,763	840,741,463	5,602	819,490,365	5,663	813,385,914
	ベトナム	218	4,243,308	211	4,497,880	350	8,435,781
	ラオス	25	539,250	126	2,736,000	249	4,224,000
	台湾	123	956,687	70	413,778	58	354,840
Musa(バナナ(セヨリータ))	フィリピン	585	1,406,671	617	1,449,755	477	645,888
Musa(バナナ(その他))	インドネシア			7	8,287	39	6,102
	タイ	28	196,776	28	206,726	29	193,778
	フィリピン	678	2,719,025	760	2,555,213	851	2,864,236
	ベトナム	21	362,880	14	241,920	23	370,520
	台湾	1	3,600				
Musa(バナナ(モートド))	フィリピン	311	53,956	327	40,976	340	50,371
Musa(バナナ(カタン))	フィリピン	54	5,778	42	2,381	69	2,582
Nephelium(ネフェリウム属)	カボジア					1	1
Parkia biglobosa(ヒロハサマメキ加工)	タイ			1	1		
Parkia biglobosa(ヒロハサマメキ)	ナイジェリア			1	1		
Psidium guajava(バジロウ(グアバ))	アゼルバイジャン					2	266
Punica granatum(ザクロ)	アゼルバイジャン			2	3	3	6
	オマーン	3	556	1	1		
Theobroma cacao(カカオ)	インドネシア	1	6				
	ガーナ	1	1				
	タイ	2	35				
	ベトナム	1	120				
Vitis(ブドウ属)	台湾	1	40				
Ziziphus mauritiana(インドナツメ)	台湾	45	38,991	32	27,194	34	33,076

諸外国における輸入検疫措置の詳細

輸入国	検疫措置	対象品目 (生果実)	対象病害虫	処理基準	根拠文献
アメリカ合衆国	低温処理	アズ、ミカン属、ブドウ、ネクタリン、モモ、スモモ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>Ceratitis capitata</i> ▪ <i>C. quinaria</i> ▪ <i>C. rosa</i> ▪ <i>Thaumatotibia leucotreta</i>	果実中心温度-0.55℃以下で 22 日間	USDA, 2024
		ゴレンシ、レイシ、リュウガン、ナシ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 1℃以下で 18 日間 ・ 果実中心温度 1.38℃以下で 18 日間	USDA, 2024
		バンジロウ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 0℃以下で 12 日間 ・ 果実中心温度 1℃以下で 15 日間	USDA, 2024
		中国産ミカン属（オレンジ等）	▪ <i>Bactrocera correcta</i> ▪ <i>B. dorsalis</i> ▪ <i>B. occipitalis</i> ▪ <i>B. pedestris</i> ▪ <i>Zeugodacus cucurbitae</i> ▪ <i>Z. tau</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 1.11℃以下で 20 日間 ・ 果実中心温度 0.56℃以下で 18 日間 ・ 果実中心温度 1.67℃以下で 22 日間	USDA, 2024
	熱処理（蒸熱処理）	台湾産マンゴウ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i>	果実中心温度 47.5℃以上で 30 分間	USDA, 2018a; USDA, 2018b
		ハワイ産パイナップル及び <i>Vasconcellea pubescens</i>	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i> ▪ <i>Ceratitis capitata</i>	果実中心温度 44.4℃以上で 8 時間 45 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
		ハワイ産パパイヤ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 44.4℃以上で 8 時間	USDA, 2018b; USDA, 2017

		・ <i>Ceratitis capitata</i>	45 分間 ・ 果実中心温度 47.2℃まで 4 時間で上昇	
	ハワイ産レイシ、リュウガン及びランブータン	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Ceratitis capitata</i>	果実中心温度 47.2℃まで 1 時間で上げ、その温度で 20 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
	トウガラシ、ナス、カリカ、パパイヤ、パイナップル、ペポカボチャ	<i>Bactrocera dorsalis</i> <i>Ceratitis capitata</i> <i>Zeugodacus cucurbitae</i>	果実中心温度 44.4℃以上で 8 時間 45 分	USDA, 2024
熱処理（温湯浸漬）	ハワイ産レイシ及びリュウガン	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Ceratitis capitata</i>	温湯温度 49℃以上で 20 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
熱処理（強制通風処理）	ハワイ産パパイヤ及びカンキツ属	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. cucurbitae</i> ・ <i>Ceratitis capitata</i>	果実中心温度 47.2℃まで 4 時間で上げ、その温度で 5 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
	ハワイ産ランブータン	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Ceratitis capitata</i>	果実中心温度 47.2℃まで 4 時間で上げ、その温度で 20 分間	USDA, 2018b; USDA, 2017
臭化メチルくん蒸処理	・ フィリピン産アボカド ・ ハワイ産アボカド	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. cucurbitae</i> ・ <i>Ceratitis capitata</i>	32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、21.2℃以上で 30 分（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 26oz）、2 時間（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 16oz）又は 4 時間（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 14oz）	USDA, 2024
臭化メチルくん蒸処理＋低温処理	リンゴ、アンズ、アボカド、サクランボ、ブドウ、キウイ、ネクタリン、モモ、ナシ、スモモ、マルメロ	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. tryoni</i> ・ <i>Ceratitis capitata</i> ・ <i>Zeugodacus cucurbitae</i>	・ 投薬量 32 g/m³、21.2℃以上で 30 分（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 25oz）又は 2 時間（天幕くん蒸の最低ガス濃度は 18oz） ＋ 0.56～2.77℃で 4 日間又は 3.33～8.33℃で 11 日間	USDA, 2024

	放射線照射 処理	ハワイ産のミカン属、カボ チャ属等の生果実、フィリ ピン産マンゴウ、ベトナム 産ポメロ	本種を含むミバエ科ミバエ科	150Gy 以上 (1,000Gy を超過しない)	USDA, 2024
		ハワイ産及びフィリピン産 マンゴウ	・ ミバエ科の全ミバエ ・ <i>Stemochetus mangiferae</i>	300Gy 以上 (1,000Gy を超過しない)	USDA, 2024
	複合措置	・ 中華人民共和国産スイ ートオレンジ	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. cucurbitae</i> ・ <i>B. correcta</i> ・ <i>B. minax</i> ・ <i>B. occipitalis</i> ・ <i>B. pedestris</i> ・ <i>B. tau</i> ・ <i>B. tsuneonis</i>	・ <i>B. minax</i> 及び <i>B. tsuneonis</i> に対する措 置 : Pest Free Places of Production (PFPP) で生産。 ・ <i>B. correcta</i> 、 <i>B. cucurbitae</i> 、 <i>B. dorsalis</i> 、 <i>B. occipitalis</i> 、 <i>B. pedestris</i> 及び <i>B. tau</i> については、これらミバエの PFPP、又は生産場所がこれらミバ エの低密度発生である場合は、追加 で植物検疫上の安全措置としての輸 送中の低温処理。	USDA, 2024
オーストラリ ア	病害虫無発 生地域	中華人民共和国産ブドウ (新疆ウイグル自治区を除 く。)、リンゴ、ナシ、モ モ、ネクタリン、スモモ及 びアンズ	<i>Bactrocera dorsalis</i> 、 <i>Drosophila suzukii</i>	北緯 33 度以北	BICON, 2018
	低温処理	中華人民共和国産ブドウ (新疆ウイグル自治区を除 く。)	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Drosophila suzukii</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 0℃以下で 10 日間 ・ 果実中心温度 0.56℃以下で 11 日間 ・ 果実中心温度 1.11℃以下で 12 日間 ・ 果実中心温度 1.67℃以下で 14 日間	BICON, 2018
		中華人民共和国産リンゴ、 ナシ、モモ、ネクタリン、 スモモ及びアンズ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	果実中心温度 3℃以下で 18 日間	BICON, 2018

	・中華人民共和国産レイシ ・台湾産レイシ ・タイ産レイシ	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 ・果実中心温度 0.99℃以下で 17 日間 ・果実中心温度 1.38℃以下で 20 日間	BICON, 2018
	・中華人民共和国産リュウガン ・タイ産リュウガン	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 ・防除を実施している園地の場合：果実中心温度 0.99℃以下で 15 日間又は果実中心温度 1.38℃以下で 18 日間 ・防除を実施していない園地の場合：果実中心温度 0.99℃以下で 17 日間又は果実中心温度 1.38℃以下で 20 日間	BICON, 2018
	インド産ブドウ	・ <i>Bactrocera correcta</i> ・ <i>B. dorsalis</i> ・ <i>Drosophila suzukii</i>	同上	BICON, 2024
	インド産ポメロ	ミバエ類 (fruit fly)	1.67℃以下で 18 日間	BICON, 2024
熱処理（蒸熱処理）	ベトナム産ヒロセレウス属	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. correcta</i> ・ <i>B. cucurbitae</i>	果実中心温度 46.5℃以上で 40 分間（庫内湿度 90%以上）	BICON, 2018
	中華人民共和国産リュウガン及びレイシ	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 ・果実中心温度 47℃以上で 15 分間 ・果実中心温度 46℃以上で 20 分間	BICON, 2018
	台湾産マンゴウ	ミバエ類 (fruit fly)	果実中心温度 46.5℃以上で 30 分間	BICON, 2018

	インド産マンゴウ	ミバエ類 (fruit fly)	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 46.5℃以上で 30 分間 ・ 果実中心温度 47.5℃以上で 20 分間	BICON, 2018
	フィリピン産マンゴウ	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. occipitalis</i>	・ 果実中心温度 46℃で 10 分以上 + ・ 1 ロットあたり 600 果を外観検査し、異常が見られた場合果実を切開して内部を検査する。	BICON, 2024
熱処理 (温湯浸漬処理)	パキスタン産マンゴウ	・ <i>Bactrocera correcta</i> ・ <i>B. dorsalis</i> ・ <i>B. zonata</i>	果実中心温度 48℃以上で 60 分以上	BICON, 2024
臭化メチルくん蒸処理 + 低温処理	中華人民共和国産ブドウ (新疆ウイグル自治区を除く。)	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Drosophila suzukii</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21℃以上で 2 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 2.77℃以下で 4 日間 ・ 32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21℃以上で 2.5 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 4.44℃以下で 4 日間 ・ 32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21℃以上で 3 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 8.33℃以下で 3 日間 ・ 40 g/m ³ の臭化メチルを使用し、果実中心温度 21℃以上で 2 時間 (収容率は 50%以下) + 果実中心温度 2.77℃以下で 4 日間	BICON, 2018

臭化メチル くん蒸処理 +低温処理	中華人民共和国産リンゴ、 ナシ、モモ、ネクタリン、 スモモ及びアズ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、果 実中心温度 21℃以上で 2 時間（収 容率は 50%以下）+果実中心温度 2.77℃以下で 4 日間 ・ 32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、果 実中心温度 21℃以上で 2.5 時間（収 容率は 50%以下）+果実中心温度 4.44℃以下で 4 日間 ・ 32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、果 実中心温度 21℃以上で 3 時間（収容 率は 50%以下）+果実中心温度 8.33℃以下で 3 日間	BICON, 2018
SO ₂ /CO ₂ く ん蒸+低温 処理	中華人民共和国産ブドウ （新疆ウイグル自治区を除 く。）	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>Drosophila suzukii</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 15.6℃以上で、 6 %CO ₂ 及び 1 %SO ₂ で 30 分間（収 容率は 33%以下）+果実中心温度- 0.5±0.5℃以下で 10 日間 ・ 果実中心温度 15.6℃以上で、 6 %CO ₂ 及び 1 %SO ₂ で 30 分間（収 容率は 33%以下）+果実中心温度 0.9±0.5℃以下で 12 日間	BICON, 2018
放射線照射 処理	ベトナム産りゅうがん	<i>Bactrocera correcta</i> <i>Bactrocera dorsalis</i>	最小線量 150Gy、最大線量 1,000Gy	BICON, 2024

		インド産マンゴウ	ミバエ類 (fruit fly)	最小線量 150Gy	BICON, 2024
		パキスタン産マンゴウ	<i>Bactrocera correcta</i> <i>Bactrocera dorsalis</i> <i>Bactrocera zonata</i>		
ニュージーランド	病害虫無発生地域	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> 発生国産ランブータン ・ 中華人民共和国産バナナ他	<i>Bactrocera dorsalis</i>	国際基準 No.26 (Establishment of pest free areas for fruit flies (Tephritidae)) に基づき設定、管理及び維持	MPI, 2018
	低温処理	台湾産レイシ	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. cucurbitae</i>	果実中心温度 1.0℃以下で 13 日間	MPI, 2018
		タイ産レイシ	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. cucurbitae</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 0℃以下で 10 日間 ・ 果実中心温度 0.56℃以下で 11 日間 ・ 果実中心温度 1.11℃以下で 12 日間 ・ 果実中心温度 1.67℃以下で 14 日間	MPI, 2018
		タイ産リュウガン	・ <i>Bactrocera dorsalis</i> ・ <i>B. correcta</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ・ 果実中心温度 0.99℃以下で 13 日間 ・ 果実中心温度 1.38℃以下で 18 日間	MPI, 2018
		ミカン属	・ <i>Bactrocera dorsalis</i>	果実中心温度 1.7℃以下で 15 日間	MPI, 2024

熱処理（蒸熱処理）	台湾産レイシ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i>	室温から 46.5℃まで上げ、その温度で 20 分間	MPI, 2018
	タイ産レイシ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i>	室温から 47℃まで上げ、その温度で 20 分間	MPI, 2018
	タイ産リュウガン	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. correcta</i>		MPI, 2018
	ベトナム産マンゴウ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. carambolae</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i> ▪ <i>B. correcta</i>	以下のいずれかの基準で処理。 ▪ 果実中心温度 46.5℃以上で 30 分間 ▪ 果実中心温度 47℃以上で 20 分間	MPI, 2018
	インド産マンゴウ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. caryeae</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i> ▪ <i>B. correcta</i> ▪ <i>B. diversa</i> ▪ <i>B. tau</i> ▪ <i>B. zonata</i>	果実中心温度 48℃以上で 20 分間	
臭化メチルくん蒸処理	インドネシア産マンゴスチン	▪ <i>Bactrocera carambolae</i> ▪ <i>B. papaya</i>	32 g/m ³ の臭化メチルを使用し、21℃以上で 2 時間（収容率は 50%を超えないこと）	MPI, 2018
放射線照射処理	タイ産レイシ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i> ▪ <i>Conogethes punctiferalis</i>	250Gy 以上	MPI, 2018
	タイ産リュウガン	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. correcta</i> ▪ <i>Conogethes punctiferalis</i>		

		ベトナム産マンゴウ	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. carambolae</i> ▪ <i>B. cucurbitae</i> ▪ <i>B. correcta</i>	400Gy 以上	MPI, 2018
		<i>Bactrocera dorsalis</i> 発生国産 ランブータン	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i>	国際基準 No. 28 付属書 7 (Irradiation treatment for fruit flies of the family Tephritidae (generic)) に基づく処理	MPI, 2018
	収穫からこ ん包までの 措置	タイ産マンゴスチン	▪ <i>Bactrocera dorsalis</i> ▪ <i>B. carambolae</i> ▪ <i>B. papaya</i>	成熟果を収穫し、こん包施設で荷口の 全量を目視検査（傷害果の有無）	MPI, 2018
国際基準 No. 28 Annex 32	熱処理（蒸 熱処理）	パパイヤ	<i>Bactrocera dorsalis</i>	庫内温度を室温から 47℃に 3 時間以 上かけて上昇させ（相対湿度 80%以 下）、果実中心温度 46℃で 70 分間 （庫内温度 47℃以上・相対湿度 90% 以上）	FAO, 2018
国際基準 No. 28 Annex 7	放射線照射 処理	ミバエ科の寄主植物（生果 実及び野菜）	ミバエ科	最低 150Gy 照射	FAO, 2016
国際基準 No. 28 Annex 33		<i>Bactrocera dorsalis</i> の寄主植 物（生果実及び野菜）	<i>Bactrocera dorsalis</i>	最低 116Gy 照射	FAO, 2021

引用文献

- Akbar, S. A., S. U. Nabi, S. Mansoor and K. A. Khan (2019) Morpho-molecular identification and a new host report of *Bactrocera dorsalis* (Hendel) from the Kashmir valley (India). *International Journal of Tropical Insect Science*: 1-11.
- Almeida, R. D. R., K. R. Cruz, M. D. S. M. De Sousa, S. V. Da Costa-Neto, C. R. De Jesus-Barros, A. L. Lima and R. Adaimé (2016) Frugivorous flies (Diptera: Tephritidae, Lonchaeidae) associated with fruit production on Ilha de Santana, Brazilian Amazon. *Florida Entomologist* 99: 426-436.
- Allwood, A. J., A. Chinajariyawong, R. A. I. Drew, E. L. Hamacek, D. L. Hancock, C. Hengsawad, J. C. Jipanin, M. Jirasurat, C. Kong Krong, S. Kritsaneepailoon, C. T. S. Leong and S. Vijayasegaran (1999). Host Plant Records for Fruit Flies (Diptera: Tephritidae) in Southeast Asia. *The Raffles Bulletin of Zoology, Supplement* 7: 1-92.
- APQA (2020) 식물검역 수입식물 검역정보 금지식물 (輸入禁止植物) . (online), available from <http://www.qia.go.kr/plant/imQua/plant_no_imp.jsp>, (accessed 2020-09-03).
- Badii, K. B., M. K. Billah, K. Afreh-Nuamah and D. Obeng-Ofori. (2015) Species composition and host range of fruit-infesting flies (Diptera: Tephritidae) in northern Ghana. *International Journal of Tropical Insect Science* 35: 137-151.
- Bauer, R. (2003) A synopsis of the tribe Hylocereae F. Buxb. *Cactaceae Systematics Initiatives* 17: 1-63.
- BEBIF (2016) *Bactrocera dorsalis*. In: True Fruit Flies (Diptera: Tephritidae) of the Afrotropical Region. (online), available from <<http://projects.bebif.be/fruitfly/specimeninfo.html?id=16180>>, (accessed 2021-10-28).
- BICON (2018) Australian Biosecurity Import Conditions. (online), available from <<https://bicon.agriculture.gov.au/BiconWeb4.0/>>, (accessed 2018-08-01).
- BICON (2024) Australian Biosecurity Import Conditions. (online), available from <<https://bicon.agriculture.gov.au/BiconWeb4.0/>>, (accessed 2024-10-01).
- CABI (2018a) *Bactrocera carambolae*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified 2018-03-27).
- CABI (2018b) *Bactrocera dorsalis*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>.
- CABI (2020) *Bactrocera caryae*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera kandiensis*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera pyrifoliae*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:24 November 2019). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera carambolae*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).
- CABI (2020) *Bactrocera dorsalis*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:10 December 2020). (accessed 2021-02-19).
- CABI (2020) *Bactrocera occipitalis*. In: Crop Protection Compendium. Wallingford, UK: CAB International. (online), available from <<http://www.cabi.org/cpc/>>, (Last modified:23 January 2020). (accessed 2020-07-29).

- Castilho A. P., J. Pasinato, J. E. V. Dos Santos, A. E. S. Da Costa, D. E. Nava, C. R. De Jesus, R. Adaima (2019) Biology of *Bactrocera carambolae* (Diptera: Tephritidae) on four hosts. *Revista Brasileira de Entomologia* 63: 302-307.
- Drew, R. A. I. and D. L. Hancock (1994) The *Bactrocera dorsalis* complex of fruit flies (Diptera: Tephritidae: Dacinae) in Asia. *Bulletin of Entomological Research Supplement Series Supplement No. 2*. CAB International: 68 pp.
- Drew, R. A. I. and M. C. Romig (2013) *Tropical Fruit Flies of South-East Asia*. CAB International. 653 pp.
- Elwan, A. A. (2000) Survey of the insect and mite pests associated with date palm trees in Al-Dakhliya region, Sultanate of Oman. *Egyptian Journal of Agricultural Research* 78: 653-664.
- EPPO (2020) *Bactrocera kandiensis*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2020-07-24).
- EPPO (2020) *Bactrocera carambolae*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2020-05-28).
- EPPO (2020) *Bactrocera dorsalis*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2020-07-24).
- EPPO (2021) *Bactrocera dorsalis*. In: EPPO Global Database. (online), available from <<https://gd.eppo.int/>>, (Last updated 2021-09-30).
- EPPO (2024) EPPO Reporting Service 2024/097. New data on quarantine pests and pests of the EPPO Alert List. (online), available from <<https://gd.eppo.int/reporting/article-7847>>, (accessed 2024-08-20).
- FAO (2015) ISPM 26 Establishment of pest free areas for fruit flies (Tephritidae).
- FAO (2016) ISPM 28 PT 7: Irradiation treatment for fruit flies of the family Tephritidae (generic).
- FAO (2018) ISPM 28 PT 32: Vapour heat treatment for *Bactrocera dorsalis* on *Carica papaya*.
- FAO (2021) ISPM 28 PT 33: Irradiation treatment for *Bactrocera dorsalis*.
- Goergen, G., J. F. Vayssieres, D. Gnanvossou and M. Tindo (2011) *Bactrocera invadens* (Diptera: Tephritidae), a New Invasive Fruit Fly Pest for the Afrotropical Region: Host Plant Range and Distribution in West and Central Africa. *Environmental Entomology* 40: 844-854.
- Harris, E. J., N. J. Liquido and C. Y. L. Lee. (2003) Patterns in appearance and fruit host utilization of fruit flies (Diptera: Tephritidae) on the Kalaupapa Peninsula, Molokai, Hawaii. *Proceedings of the Hawaiian Entomological Society* 36: 69–78.
- Howarth, B. (2006) Diptera of the UAE - collated records from the literature with additions of new records, accompanied by some notes on Mydidae and Stratiomyidae new to the UAE. *Tribulus* 16.2 Autumn/Winter 2006: 24-29.
- Hussain, M. A., A. Haile and T. Ahmad (2015) Infestation of two tephritid fruit flies, *Bactrocera dorsalis* (syn. *B. invadens*) and *Ceratitidis capitata*, in guava fruits from selected regions of Eritrea. *Agrican Entomology* 23: 510-513.
- Ichinohe, F., M. Mizobuchi and K. Iha (1980) Notes on the Biology of *Dacus expandens* WALKER (Diptera: Tephritidae), with Morphological Description of the Immature Stages of *D. expandens* and *D. dorsalis*. *Research Bulletin of the Plant Protection Service Japan* 16: 35-40.
- 一戸文彦・古茶武男・尊田望之 (1973) ミカンコミバエの卵巣の発育および産卵数. *植物防疫所調査研究報告* 11: 54-56.
- INPN (2020) *Selenicereus megalanthus* (K. Schum. ex Vaupel) Moran, 1953. *Invetaire National du Patrimoine Naturel*. Muséum national d'Histoire naturelle. (online), available from <https://inpn.mnhn.fr/espece/cd_nom/886333/tab/taxo?lg=en>. (accessed 2020-11-02).
- Isabirye, B. E., A. M. Akol, H. Muyinza, C. Masembe, I. Rwomushana, and C. K. Nankinga (2016) Fruit Fly

- (Diptera: Tephritidae) Host Status and Relative Infestation of Selected Mango Cultivars in Three Agro Ecological Zones in Uganda. *International Journal of Fruit Science* 16: 23-41.
- 石井象二郎・桐谷圭治・古茶武男 (1985) ミバエの根絶—理論と実際—. 社団法人農林水産航空協会: 391 pp.
- Iwaizumi, R., M. Kumagai and S. Katsumata (1994) Research of Infestation to Several Kinds of Fruits by the Melon Fly, *Bactrocera cucurbitae* (COQUILLET) and the Oriental Fruit Fly, *B. dorsalis* (HENDEL) (Diptera: Tephritidae). *Research Bulletin of the Plant Protection Service Japan* 30: 93-97.
- 岩泉連 (1995) ミバエ 3 種の日本における世代期間推定のための簡易早見表. *植物防疫所調査研究報告* 31: 129-131.
- 岩泉連・熊谷正樹・加藤利之 (1995) ミカンコミバエ及びウリミバエの寄主植物としてのピタヤ *Hylocereus undatus* の植物検疫重要性. *植物防疫所調査研究報告* 31: 101-104.
- Lemos, L. N., R. Adaime, C. R. Jesus-Barros, E. G. Deus (2014) New hosts of *Bactrocera carambolae* (Diptera: Tephritidae) in Brazil. *Florida Entomologist* 97: 694-704.
- Linquido, N., E. J. Harris and L. A. Dekker (1994) Ecology of *Bactrocera latifrons* (Diptera: Tephritidae) Populations: Host Plant, Natural Enemies, Distribution, Abundance. *Annals of the Entomological Society of America* 87: 71-84.
- 上地俊久・有本誠 (2012) 我が国が侵入を警戒している病害虫について (1) 害虫. *植物防疫* 66: 51-54.
- 加藤紀香 (2016) 奄美大島におけるミカンコミバエ種群の緊急防除の解除について. *植物防疫* 70: 717-720.
- 厚生省 (1947) 食品衛生法 (昭和 22 年法律第 233 号) .
- Korotkova, N., T. Borsch, and S. Arias (2017) A phylogenetic framework for the Hylocereae (Cactaceae) and implications for the circumscription of the genera. *Phytotaxa* 327: 1-46.
- Malavasi, A., D. Midgarden, A. Van Sauers-Muller and M. J. S. Godoy (2013) Manual for the control of the carambola Fruit fly in South America. CFF operation manual. Second edition, IICA. (online), available from <https://www.researchgate.net/publication/317182807_Manual_for_the_control_of_the_Carambola_fruit_fly_in_South_America>, (accessed 2024-08-20).
- Meyer, M. D., S. Mohamed and I. M. White (2014) Invasive Fruit Fly Pests in Africa. (online), available from <<https://www.africamuseum.be/fruitfly/AfroAsia.htm>>, (Last updated 2014-02-16).
- MAF (2018) The annual report 2018. Directorate General of Agricultural and Animal Research, Ministry of Agriculture and Fisheries. (online), available from <<http://5.162.223.177/Pages/BulletinDetails.aspx?Id=801&lang=AR&I=0&DId=0&CId=0&CMSId=800020>>, (accessed 2021-10-28).
- Mafirakurewa, V. C. (2016) Diversity and population dynamics of *Bactrocera invadens* and other tephritid fruit fly species infesting mango (*Mangifera indica*) in Zimbabwe and relative efficacies of selected insecticides incorporated in food baits. A Thesis Submitted in Partial Fulfillment of the Requirements for the Degree of Master of Science in Tropical Entomology. University of Zimbabwe: 73 pp. (online), available from <http://41.175.146.201/bitstream/handle/10646/2588/Mafira_Bactrocera_invades_and_other_tephritid_fruit_fly_species_infesting_mango.pdf?sequence=1&isAllowed=y>, (accessed 2020-07-17).
- MICAF (2005) The Plants (Importation) Control (Amendment) Regulations, 2005.
- MPI (2018) Import health standards. (online), available from <<http://www.mpi.govt.nz/importing/food/fresh-fruit-and-vegetables/requirements/>>, (accessed 2018-07-13).
- MPI (2024) Import health standards. (online), available from <<http://www.mpi.govt.nz/importing/food/fresh-fruit-and-vegetables/requirements/>>, (accessed 2024-10-01).

- Musasa, S. T., A. B. Mashingaidze, R. Musundire, A. A. Aguiar, J. Vieira and C. P. Vieira (2019) Fruit fly identification, population dynamics and fruit damage during fruiting seasons of sweet oranges in Rusitu Valley, Zimbabwe. *Scientific reports* 9: 1-11.
- Mwatawala, M. W., M. De Meyer, R. H. Makundi and A. P. Maerere (2006) Seasonality and host utilization of the invasive fruit fly, *Bactrocera invadens* (Dipt., Tephritidae) in central Tanzania. *Journal of Applied Entomology* 130: 530-537.
- N'dépo. O. R., N. F. Hala, A. Gnago, K. Allou, K. P. Kouassi, J. F. Vayssières and M. De Meyer (2010) Inventaire des Mouches des Fruits de Trois Régions Agro-écologiques et des Plantes-hôtes Associées à L'espèce Nouvelle, *Bactrocera* (*Bactrocera*) *Invadens* Drew et al. (Diptera: Tephritidae) en Côte-d'Ivoire. *European Journal of Scientific Research*: 62-72.
- Ndiaye, O., J. F. Vayssières, J. Y. Rey, S. Ndiaye, P. M. Diedhiou, C. T. Ba and P. Diatta (2012) Seasonality and range of fruit fly (Diptera: Tephritidae) host plants in orchards in Niayes and the Thiès Plateau (Senegal). *Fruits* 67: 311-331.
- Ndiaye, O., S. Ndiaye, S. Djiba, C. T. Ba, L. Vaughan, J. Y. Rey and J. F. Vayssières (2015) Preliminary surveys after release of the fruit fly parasitoid *Fopius arisanus* Sonan (Hymenoptera Braconidae) in mango production systems in Casamance (Senegal). *Fruits* 70: 91-99.
- 農林省 (1950) 植物防疫法施行規則 (昭和 25 年農林省令第 73 号) .
- 農林水産省植物防疫所 (1986) わが国からミカンコミバエ根絶に成功. *病害虫情報* 19:1-3. (online), available from <http://www.maff.go.jp/pps/j/guidance/pestinfo/pdf/pestinfo_019_1-3.pdf>, (accessed 2018-08-08).
- 農林水産省植物防疫所 (2018b) 植物検疫統計 統計レポート(1997 年～2017 年). (online), available from <<http://www.maff.go.jp/pps/>>, (accessed 2018-08-08).
- 植物防疫所 (2024) 侵入調査について. 植物防疫所ホームページ. (online), available from <<http://www.maff.go.jp/pps/>>, (accessed 2024-10-25).
- Okawa, Y. (1991) Records of Interception of the Oriental Fruit Fly, *Dacus dorsalis* Hendel, at the Import Quarantine Inspection at Airports in Japan. *FAO Quarterly Newsletter –Asia and Pacific Plant Protection Commission* 34: 4-6.
- Otuka, A., K. Nagayoshi, S. Sanada-Morimura, M. Matsumura, D. Haraguchi and R. Kakazu (2016) Estimation of possible sources for wind-borne re-invasion of *Bactrocera dorsalis* complex (Diptera: Tephritidae) into islands of Okinawa Prefecture, southwestern Japan. *Applied Entomology and Zoology* 51: 21-35.
- Plants of the World online (2020) Kew science. (Royal Botanic Gardens, Kew) *Hylocereus megalanthus*. (online), available from <<http://powo.science.kew.org/taxon/50425948-2>>, (accessed 2020-11-02).
- Queensland Government (2020) Oriental fruit fly. (online), available from <<https://www.business.qld.gov.au/industries/farms-fishing-forestry/agriculture/crop-growing/priority-pest-disease/oriental-fruit-fly>>, (Last updated 2020-02-16).
- Ranganath H. R. and K. Veenakumari (1999) NOTES ON THE DACINE FRUIT FLIES (DIPTERA: TEPHRITIDAE) OF ANDAMAN AND NICOBAR ISLANDS - II. THE RAFFLES BULLETIN OF ZOOLOGY. 47: 221-224.
- Rwomushana, I., S. Ekesi, I. Gordon and C. K. P. O. Ogol (2008) Host Plants and Host Plant Preference Studies for *Bactrocera invadens* (Diptera: Tephritidae) in Kenya, a New Invasive Fruit Fly Species in Africa. *Annals of the Entomological Society of America* 101: 331-340.
- 佐伯聰・片山満・奥村正美 (1980) ミカンコミバエの生育限界に関する調査. 植物防疫所調査研究報告 16: 73-76.
- Sauers-Muller, A. V. (2005) Host Plants of the Carambola Fruit Fly, *Bactrocera carambolae* Drew & Hancock

- (Diptera: Tephritidae), in Suriname, South America. *Neotropical Entomology* 34: 203-214.
- Schutze, M. K., N. Aketarawong, W. Amornsak, K. F. Armstrong, A. A. Augustinos, N. Barr, W. Bo, K. Bourtzis, L. N. Boykin, C. Caceres, S. L. Cameron, T. A. Chapman, S. Chirvinijkul, A. Chomic, M. De Meyer, E. Drosopoulou, A. Englezou, S. Ekesi, A. Gariou-Papalexiou, S. M. Geib, D. Hailstones, M. Hasanuzzaman, D. Haymer, A. K. W. Hee, J. Hendrichs, A. Jessup, Q. Ji, F. M. Khamis, M. N. Krosch, L. Leblanc, K. Mahmood, A. R. Malacrida, P. Mavragani-Tsipidou, M. Mwatawala, R. Nishida, H. Ono, J. Reyes, D. Rubinoff, M. Sanjose, T. E. Shelly, S. Srikachar, K. H. Tan, S. Thanaphum, I. Haq, S. Vijaysegaran, S. L. Wee, F. Yesmin, A. Zacharopoulou and A. R. Clarke (2015) Synonymization of key pest species within the *Bactrocera dorsalis* species complex (Diptera: Tephritidae): taxonomic changes based on a review of 20 years of integrative morphological, molecular, cytogenetic, behavioural and chemoeological data. *Systematic Entomology* 40: 456-471.
- 朱耀沂・陳建志 (1985) 東方果實蠅之非栽培性寄主植物誌. 國立臺灣大學植物病蟲害. 第 12 期: 63-77.
- Sookar P., N. Patel and P. Ramkalawon (2020) *Bactrocera dorsalis* an invasive fruit fly species. Book of abstracts 4th International TEAM meeting (La Grande Motte, FR, 2020-10-05/09), po-49. (online), available from <https://www.alphavisa.com/team/2020/documents/Abstract-book_TEAM-2020.pdf>, (accessed 2021-06-30).
- Tel-Zur, N., S. Abbo, D. Bar-Zvi and Y. Mizrahi (2004) Genetic relationships among *Hylocereus* and *Selenicereus* vine cacti (Cactaceae): evidence from hybridization and cytological studies. *Annals of Botany* 94: 527-534.
- Tropics (2020) *Selenicereus megalanthus* (K. Schum. ex Vaupel) Moran. Missouri Botanical Garden. (online), available from <<http://legacy.tropicos.org/Name/5102142?tab=synonyms>>. (accessed 2020-11-02).
- 内川英幸・久場洋之・小濱継雄 (2010) ミバエ類寄主植物調査ハンドブック. 沖縄県病害虫防除技術センター: 143 pp.
- Ulloa Ulloa, C., P. Acevedo-Rodríguez, S. G. Beck, M. J. Belgrano, R. Bernal, P. E. Berry, L. Brako, M. Celis, G. Davidse, S. R. Gradstein, O. Hokche, B. León, S. León-Yáñez, R. E. Magill, D. A. Neill, M. H. Nee, P. H. Raven, H. Stimmel, M. T. Strong, J. L. Villaseñor Ríos, J. L. Zarucchi, F. O. Zuloaga and P. M. Jørgensen (2017) An integrated Assessment of Vascular Plants Species of the Americas. *Science* 358: 1614-1617. (Online), available from <<https://www.science.org/doi/10.1126/science.aao0398>>, (accessed 2021-02-24).
- USDA (2017) Regulation and Clearance from Hawaii to Other Parts of the United States. (online), available from <https://www.aphis.usda.gov/import_export/plants/manuals/ports/downloads/hawaii.pdf>, (accessed 2018-07-10).
- USDA (2018a) Fruits and Vegetables Import Requirements (FAVIR). (online), available from <<https://epermits.aphis.usda.gov/manual/index.cfm?CFID=1298323&CFTOKEN=b6164ad8285fff4-7F55E03D-08A1-B03F-6433FA44E1B7CCF6&ACTION=pubHome>>, (accessed 2020-09-07).
- USDA (2018b) Treatment Manual. (online), available from <https://www.aphis.usda.gov/aphis/ourfocus/planthealth/import-information/sa_quarantine_treatments/ct_quarantine-treatment>, (accessed 2020-09-07).
- USDA (2024) Treatment Schedule Document Search, Agricultural Commodity Import Requirements. (online), available from <<https://acir.aphis.usda.gov/s/>>, (accessed 2024-09-25).
- Vargas, R. I., J. C. Piñero, R. F. Mau, E. B. Jang, L. M. Klunghess, D. O. McInnis, D. O., E. B. Harris, G. T. McQuate¹, R. C. Bautista and L. Wong (2010) Area-wide suppression of the Mediterranean fruit fly, *Ceratitis capitata*, and the Oriental fruit fly, *Bactrocera dorsalis*, in Kamuela, Hawaii. *Journal of Insect Science* 10: 135.
- White, I. M. (2006) Taxonomy of the Dacina (Diptera: Tephritidae) of Africa and the Middle East. *African Entomology*, (Memoir No. 2): 1-156.
- White I. M. and M. M. Elson-Harris (1992) Fruit Flies of Economic Significance: Their Identification and

Bionomics. CAB International: 601 pp.

Yong, H. S., P. E. Lim and J. Tan (2014) *Gnetum gnemon* (Gnetaceae): a new host plant of carambola fruit fly

Bactrocera carambolae (Insecta: Tephritidae). Journal of Science and Technology in the Tropics 10: 39-44.

吉澤治 (1993) わが国において根絶に成功したミバエ類の根絶防除事業の概要. 植物防疫 47: 527-533.